

静岡市文化振興ビジョン  
中間評価書

平成 23 年 3 月

静岡市文化振興ビジョン評価懇話会

## 目 次

### はじめに

1 静岡市文化振興ビジョン中間評価書	
(1) 全体評価	1
(2) 目標別評価	3
2 資料	
(1) 評価シート	4
(2) 事業評価	18
(3) 文化振興ビジョン第1期実施計画 (進捗状況調査票)	36
(4) 文化振興ビジョン第1期実施計画 (新規・未実施事業一覧)	54
3 静岡市文化振興ビジョン評価懇話会 委員名簿	59
(参考)	
静岡市文化振興ビジョン評価懇話会設置 要綱	60

### 関係資料

静岡市文化振興ビジョン（本編）

静岡市文化振興ビジョン第1期実施計画（平成18年度から平成21年度）

はじめに

静岡市は、平成 17 年度に「個性あるしずおか文化の創造と承継～人が文化を創り、文化が人を育てる都市（まち）を目指して～」とした「静岡市文化振興ビジョン」（計画期間：平成 18 年度から平成 26 年度まで）を策定しました。これは静岡市の文化事業を振興していくための基本的な考え方や、施策の方向を示す指針となるものです。

ビジョン策定後 5 年が経過した本年度に、「静岡市文化振興ビジョン評価懇話会設置要綱」を制定し、その目的に沿って懇話会を立ち上げ、各施策の進捗状況、市民の活動状況等に関する中間評価を実施しました。

評価は、最初に各事業課において自己評価を実施し、次に市民公募委員を含めた 5 人の委員が各自事前評価を行い、最後に評価懇話会を開催し総合的な評価を行いました。

本評価書は、評価懇話会において出された評価・意見等についてまとめたものです。

平成 23 年 3 月

・評価実施の経緯

平成 18 年 3 月	静岡市文化振興ビジョン策定
平成 22 年 12 月	静岡市文化振興ビジョン評価懇話会設置要綱策定
〃	静岡市文化振興ビジョン評価懇話会公募委員の選考に関する要綱策定
〃	静岡市文化振興ビジョン評価懇話会委員募集要領策定 (市民委員公募)
平成 23 年 1 月	第 1 回静岡市文化振興ビジョン評価懇話会開催
平成 23 年 3 月	第 2 回静岡市文化振興ビジョン評価懇話会開催

# 静岡市文化振興ビジョン中間評価書

## 1. 全体評価

各事業とも目標を達成するため概ね良好に実施されているが、さらなる工夫が必要と考える。

### (1) 課題等

#### ①評価方法

- ・文化振興ビジョンの策定、中間評価、最終評価と制度上、評価は必要だが、文化という性質上、画一的な指標で一律の価値基準で評価することが難しい、また文化は流動的であり一点を捉えて評価も難しい。さらに評価出来ないものもあるという認識も必要。公共事業では「費用対効果」という経済評価を行うが、文化にとって必ずしもそれが良いとは思わない。採算を考えると文化事業はやらなくても良いということになってしまう。
- ・評価シート中に「短期的ではなく、長期的に」という評価が出てくるがそのとおりだと思う。文化事業では直ちに効果や実績が現れるものばかりではないと思う。
- ・評価方法を点数制にするのは反対である。実態として今、取り組んでいるものがわかるようなものを資料に取り込んでおけば評価ができる。
- ・単年度で評価を行う場合、継続中の事業の評価が低くなる。表に出てこない下支えのような部分が重要なのに、目に見える実績だけを評価すると事業自体が限られ、文化の芽が摘まれてしまう。実績のみを目指すという考えは文化にとってなじまないところである。
- ・評価の手法として、「単年度での実績」と「このようなことを考えて、こういう方向で実施しています。」というような動きが見える報告でもよいと思う。
- ・文化振興課で実績を集計することよりも、それぞれの事業実施課において、内発的に自主的にやっていく仕組み作りが重要で、それが文化事業と他の事業の違いと思う。
- ・芸術文化、伝統文化、地域文化、生活文化など同じ文化でも、いろいろな使い方をしており、それぞれを比較評価することは難しい。

#### ②資料

- ・提供されている情報、資料が行政の実施報告や進捗状況など、一方的な報告になっている。市民アンケートやイベント参加者、主催者などにアンケートを実施し、その結果や意見も公表すべき。
- ・資料⑦進捗状況調査票のように、進捗状況を確認できれば比較の実態を掴むことができる。
- ・各事業について、こういうことを、何回やった等、具体的に記載されているものは良いが、抽象的な表現では何をやっているのかが良く分からない。
- ・資料中、課によって評価が大きく違っている。評価方法、記載方法などの統一ができればより良くなると思う。
- ・事業内容に書いてある抽象的なことを、そのまま評価欄に記載しても良く分からないので、もっと明確にするべきである。
- ・進捗状況の個別事業をみると多くの事業があり、ある程度は数字的な状況もわかる。ただ、1つの課においても複数の事業があり、すべて出すとなれば膨大な量になってしまい、肝心なものが埋もれてしまう可能性が高い。

#### ③情報公開

- ・各種の集約された情報の報告義務相手は市民であるということを念頭に置き、インターネットを積極的に利用し情報を公開することが必要である。
- ・利用者が必要とする情報、資料を取り出せるような環境を整備していくことが必要である。
- ・民間の施設、事業、利用者情報なども、静岡市の文化情報として合せて発信できる環境の整備が必要である。
- ・各施設の指定管理者や補助金を受けている団体等に対して、実施事業内容や事業評価など HP で情報公開させることを義務とするような制度の検討が必要である。
- ・行政はいくつもの情報を集約して公表するのではなく、それぞれを案内するような仕組みに変更するべきである。
- ・インターネットを使ってその都度の市民の意見を反映しながら、「行政としてはこう考える」ということが公開されていくシステムを作ることが必要である。

## 静岡市文化振興ビジョン中間評価書

### ④推進体制

- ・行政内部において文化振興ビジョンを推進していくための体制、仕組の再検討が必要である。
- ・行政内部の各課において、文化振興ビジョンの捉え方に温度差があるのではないかと、特に文化事業と離れた課になればなるほど、そこが心配な点になっている。
- ・行政が事業を行う場合、平等であることは必要だが、観光や商店との結び付き、AOI の地域の人たちを育てる事業など、特質を持たせたり、顔作りのようなものも行う必要もある。ただこれを文化振興課だけでやるのは困難だろう。そこで補助的なシステムが必要ではないのかと思う。

### ⑤今後について

- ・事業成果が表れるまでに長期的な年月を必要とする事業があり、それについての評価指標の設定方法の検討が必要である。
- ・文化事業は「費用対効果」という評価方法が最もやりにくい分野だとは思いますが、そのような手法で無理に評価をして地道な活動の芽を摘むようなことはしないでほしい。むしろ行政はそういうものを支援してほしい。
- 1、2年で目に見える成果が出なくても、3、4年後には事業の公開を行うようなものにも補助してほしい。
- ・市民満足度調査などを有効に使うべき。
- ・文化振興は決められたパターンではなく、新しい試み、新しいコラボレーションが必要である。
- ・経済効果に還元できない、失敗もありうる、そこを組み込んだ展開を全庁的に検討する必要がある。
- ・こういう成果が得られるという結果が見えるものではなく、先々成果があるかもしれない、あるんじゃないか程度のもも応援してほしい。
- ・必要があるから事業を行うのではなく『こういうことをやってみたらどうか』というような『プラス アルファ』をつくっていくことが文化事業の特色である。
- ・文化と観光とビジネスを結び付けることがこれからの時代には大切なこと。
- ・行政主導で文化づくりを引っ張る時代から、行政は活動を支援するといった時代になっている。そこで、補助内容の見直しや有り方について考えることが必要になってくる。
- ・静岡県が文化振興の目標の『みる・つくる』に『ささえる』ということを追加した。静岡市も『ささえる』という視点の展開が必要ではないか。
- ・アンケートをとるだけでなく、住民意見をどのように反映していくか、ニーズをどう把握するか、もっと工夫する必要がある。
- ・アンケートの取り方、集約、公開・開示、次への活かし方などの工夫が重要。そして連続的に実施することが必要になってくる。
- ・行政だけでは難しい問題には市民の知恵も必要。そのためには市民、団体、企業等との協働ということが必要になってくる
- ・『文化とはこういうものだ。』ということを説明して、理解してもらうことが静岡市の文化振興につながるのではないと思う。
- ・文化事業の表彰制度等では、選考基準が『実績による』となっている場合がある。その基準では、年齢が上がり限定されてしまうので、若手にもっとチャンスを与えるようなものが必要である。
- ・この懇話会のように、文化に関わる者が集まり、話をすると色々な意見が出てくる。そういう雰囲気文化にとってとても重要で、みんながいいなと思うと、そこに関心が生まれ、広い目で文化の発展につながるの  
で、定期的な集まりを開催するようなことを検討すべきである。
- ・文化団体とは何かという問題がある。一つは社会教育的な意味で、それをやること自体を楽しむというもの。また一方で、質的に高める、伸ばしていくという芸術家に関するもの。これをどこかで分けなければ  
ならないが、静岡市の文化振興という意味では両面が必要。さらに、それを観て楽しむという方もいる。それぞれの目標みたいなものがあったとしても良いのではないと思う。

## 静岡市文化振興ビジョン中間評価書

2. 目標別評価		
(1) しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承 ①文化財の保護、活用促進 ②伝統ある文化の伝承の支援	(2) 地域性豊かな市民文化の創造 ①多彩な市民文化活動の支援 ②文化活動の環境整備 ③地域資源を活かした文化事業の充実	(3) しずおか文化の発信と交流 ①全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備 ②文化交流事業の推進
<p>概ね良好に各事業を実施しているが、さらなる工夫が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財に関しては時間的な変化が少ないので継続して事業を実施する必要がある。</li> <li>・「その後の活用方法などが課題となる。」という部分が重要となる。</li> <li>・評価シート中「市民に身近な生涯学習施設等について…」だが、清水区の生涯学習施設の指定管理者制度導入については、講座展開型という施設運営が今よりも必要になってくる。また将来に向けての人材育成が必要になる。</li> <li>・地域に設けられた生涯学習施設において、施設の運営、事業の展開など人材の育成に努めていただきたい。</li> <li>・事業番号(11102)では、事業内容、実績等を具体的に記載されており、何をやろうとしているかがよくわかる。逆に事業番号(11204)等は、抽象的な表現となっており何をやっているのかが良く分からない。</li> <li>・登呂博物館のリニューアルに際し演劇の発表を行ったが、その中で、小学生が、自分の通っている小学校の地下に遺跡があることを知らない。学校教育で教えていない。戦後、登呂遺跡の発掘に携わってきた方々の体験談など資料はあるので活用してほしい。</li> <li>・文化財等のデータベース化は積極的に実施してほしい。</li> <li>・地域における伝統芸能を小中学生に伝えるのは重要なことだが、地域にいる高齢者が小中学生に教えるということだけでは中間層が抜けている。中間層へどのようにアプローチしていくかも大切なことである。</li> <li>・中山間地の伝統文化を引き継ぐことについて、市街地で活動している団体と協働を考えてはどうか。</li> <li>・埋蔵文化財センターがあまり知られていない。立派な施設で歴史的な場所に建設されているので、その活用方法を検討してほしい。</li> </ul>	<p>概ね良好に各事業を実施しているが、さらなる工夫が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駿河区の「きてこ」の指定管理者制度移行時に利用者団体の運営委員会が設けられたが、このようなより一層の地区住民や利用者との関係作りが大切だと思っている。</li> <li>・自分たちが生活している地域が、貴重な遺跡が存在する場所であることを再認識し、考古学に興味をもつようになる状況がある。</li> <li>・事業番号(21204)、(23101)のようなデータベース化でも未実施のものがあるが検討が必要ではないか。</li> <li>・人材のデータベース化は更新作業がとても手間がかかる。また目的をはっきりさせて情報収集しなければ意味がなくなる場合がある。ただ、デジタル化といわれる今日では必要とされるものなので良く検討してほしい。</li> <li>・利用者数等の記載は、何を指しているかを明確にしてほしい。</li> <li>・クリエイター支援センターは、立地条件の良いところにあるので、もっと活用される可能性があると思える。</li> <li>・市文化協会への演劇分野から加入者は少数なので十分に機能していない状況にある。このままで良いのかと懸念している。</li> <li>・文化団体は時代の状況や住民の要望などを踏まえながら柔軟な運営を行うことが望ましい。</li> <li>・事業を実施する際、県外から事業スタッフを集めているが、ホール等文化施設の運営については、独自のスタッフの人材育成、活用を図る必要がある。</li> <li>・事業番号(21201)、(21203)について、A0Iの事業は評価できるが音楽関係の事業のみなのでそれ以外はどうなっているのか。</li> <li>・事業番号(22105)は舞台芸術だけに留まっている。静岡市美術館の開館もあり美術と舞台芸術の融合など、ジャンルに偏りが無いよう広く実施してほしい。</li> <li>・音楽館などの外部施設の事業内容や事業の評価が抽象的過ぎる。</li> <li>・ギャラリーなど民間施設の情報も統計的なものに入れてほしい。</li> </ul>	<p>概ね良好に各事業を実施しているが、さらなる工夫が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大道芸が全く触れられていない。大道芸事務局も「アート」ということを強く意識しており、また世界への発信という意味では、パフォーマーの中ではかなり知られている。イベントとしても国内的にかなり認知されている。</li> <li>・姉妹都市や友好都市との国際交流をどのように展開していくのか、もっとレベルを上げて展開していくべきではないか。</li> <li>・大学でも海外へ留学する生徒が減ってきており、内向きになっている傾向がある。こういう時代だからこそ、海外との交流の中で、自分たちを刺激していかなければならない。</li> <li>・現在、文化交流事業が実施されていないとのことだが、せっかく姉妹都市や友好都市があるのだから、何らかの事業を実施してほしい。</li> <li>・今一度、姉妹都市とのパイプを見直すべきではないか。</li> <li>・観光事業を充実させる必要がある。</li> <li>・観光事業を充実するにあたり、静岡駅周辺（特に地下道から一般道へというアクセスのため）の道案内など利用者に優しくない。多数の来静者がある場合、特に大道芸開催時などJRの協力を得て利用者ならば主催者の利便性を図るよう配慮ができないものか。</li> </ul>

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

1-1

目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承		方向	1 文化財の保護、活用の促進	
方策	①文化財に対する意識の高揚	②文化財の継承	③文化財の新たな活用		
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が、文化財の由来などを知り、価値を理解することで、文化財の保護や次代への継承に対する機運を高める。</li> <li>・歴史に関する情報の提供、研究調査、学習機会の拡充に努め、文化財等に対する市民の理解を深めることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け継がれてきた文化財や歴史的に価値のある財産を、良好な状態で保存する。</li> <li>・文化財の修復技術の承継や支援、また文献の調査・収集・保存を積極的に行い、その活用に努める。</li> <li>・観光資源としての文化財の活用</li> <li>・周辺地域の景観を考慮した一体的な整備を行う。</li> <li>・文化財を利用したイベントや講座等を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や文化財所有者との連携を図り、文化財の保存・活用状況を把握し、新たな活用方策について地域の人々とともに考える。</li> <li>・取り組みを行っている地域などへの支援を行う。</li> </ul>		
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財のデータベース化</li> <li>②文化財の存在の周知</li> <li>③文化財についての講座の開催や学習機会の拡充</li> <li>④学校教育における文化財や歴史の継承事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保存修理の支援</li> <li>②周辺を含めた史跡の整備</li> <li>③文化財の調査・研究・掘り起こし</li> <li>④観光地としての発信と集客への整備</li> <li>⑤文化財やロケーションを意識したイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財等の管理者との連携</li> <li>②文化財を活用している地域などへの支援</li> <li>③文化財と地域社会とのつながりの促進</li> <li>④学校における地域文化財学習の充実</li> </ul>		
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化財を理解し、保存への意識を高めるために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(11101) 国、県、市指定文化財の基礎データを収集し、指定台帳のデジタルデータ入力を実施、データベース化を行った。(文化財課)</li> <li>(11102) 各地域の生涯学習施設において、地域の歴史資源を題材にした講座や歴史をテーマにした講演を実施している。(生涯学習推進課)</li> <li>(11103、11104) 小中学生の学習の場に市職員を派遣したり、子どもに気軽に伝統文化に親しんでもらうため、民族芸能やお茶に関する講座等を実施している。(文化財課、生涯学習推進課) <ul style="list-style-type: none"> <li>※民俗芸能体験教室(有東木の盆踊り) 毎年夏休みに7、8月に開催。H22は33人参加。</li> <li>※賤機山古墳見学。H18:2,002人、H19:2,456人、H20:2,931人、H21:3,278人参加。</li> </ul> </li> <li>(11105~11107) 登呂博物館や埋蔵文化財センター等で企画展や体験イベントなどを実施している。(文化財課、教育総務課) <ul style="list-style-type: none"> <li>※埋蔵文化財センター企画展、年4回実施。文化財展、年1回開催。</li> <li>※歴史の道ウォーク:72人参加</li> <li>※登呂遺跡での体験学習:年間約4万人参加</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>②文化財の保存に努め、後世に残すために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(11201) 久能山東照宮や浅間神社などの国・県・市指定の文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行っている。(文化財課)</li> <li>(11202) 古墳や遺跡など史跡の保存整備事業の実施(文化財課)</li> <li>(11203) 市指定文化財の指定に向け、調査研究を行っている。(文化財課) <ul style="list-style-type: none"> <li>※H22:4件の調査を実施</li> </ul> </li> <li>(11204、11205) 文化財の価値を伝えるイベントや羽衣まつりなどの事業を実施している。(文化財課、文化振興課)</li> <li>(11207) 旧静岡・清水両市の貴重な歴史映像資料のアーカイブ管理事業は目的を達成しししたため、継続について検討中。(視聴覚センター)</li> </ul> </li> <li>③地域や学校と連携した文化財の活用を図るために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>(11301) 文化財の管理者、所有者と保存についての協議会を定期的に行っている。(文化財課)</li> </ul> </li> </ul>				

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

(11302) 久能山東照宮や浅間神社などの国・県・市指定の文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行っている。(文化財課)

(11303) 小中学校の賤機山古墳の現地見学の際に職員を派遣している。(文化財課) (11104 再掲)

(11304) 小中学生の地域学習における地図や副読本を編集・発行し生徒の学習の充実を図っている。(教育総務課)

(11305) 小中学生の総合学習の支援を行うため、図書館所蔵の資料の提供を行っている。(中央図書館)

※小中学校協力貸出 H18 : 6,144 冊、H19 : 5,080 冊、H20 : 4,117 冊、H21 : 7,794 冊

- 『文化財の保護、活用の促進』ということについて、各課、概ね良好に事業を実施しているが、短期的に事業目的を達成することは困難なので、長期的かつ継続的な視点にたった事業の展開が必要。
  - ・各事業について目標設定が必要。
  - ・事業評価の方法の検討が必要。
  - ・文化財のデータベース化やアーカイブ管理事業は、その後の活用方法などが課題となる。
  - ・市民に身近な生涯学習施設等において開催される講座や講演は、文化にふれるきっかけ作りとなる良い機会と考えている。
  - ・学校教育における文化に関する学習機会を増やすことや、登呂博物館など開催される体験イベントは小中学生が、文化財を理解する上で重要な事業となる。
  - ・次代へ文化財や歴史的価値のある財産を良好な状態で受け継ぐため、保護、保存、活用と継続的な事業の実施が必要。
  - ・文化財の活用には、観光という新たな視点を含めた検討が必要。
  - ・登呂博物館のリニューアル、久能山東照宮の国宝指定など、静岡市を売り込む絶好の機会であるため、これを活かした事業策定が必要。



# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

1-2

目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承		方向	2 伝統ある文化の伝承の支援	
方策	①伝統文化に対する意識の向上	②伝統文化の継承と支援	③伝統文化事業の推進		
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が、自信を取り巻くちいきの伝統芸能や民族芸能などについての知識を深めることは、自らが住むまちや地域を愛し、誇りを感じることにつながる。</li> <li>地域の伝統芸能や民族芸能などに関する情報の提供、学習機会の拡充に努め、伝統文化に対する市民意識の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の伝統文化継承者や団体の発掘を行い、人材の育成に対する支援を行う。</li> <li>活動場所の確保及び活動に対する支援を行い、地域の伝統文化の保存、継承とその発展を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の伝統芸能や民族芸能の発表会や公演などの支援を行う。</li> <li>日本固有の古典芸能公演を開催することで、日本の伝統文化への愛着と誇りを育む土壌をつくる。</li> <li>古典芸能の公演開催にあたり、学習の場を設け、日本や静岡を再認識する機会の創出を図る。</li> </ul>		
施策イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の伝統文化のデータベース化</li> <li>②地域伝統芸能の保護</li> <li>③生活文化の記録保存と支援</li> <li>④地域文化を通じた日本文化の再発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伝統文化継承者の発掘と把握</li> <li>②伝統文化継承者への支援</li> <li>③伝統文化継承者の育成</li> <li>④地域伝統芸能の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伝統芸能公演事業の推進</li> <li>②日本古典伝統文化公演の推進</li> <li>③伝統文化講座の開催や学習機会の拡充</li> <li>④日本古典芸能を理解するための事業開催</li> </ul>		
実施事業の評価と課題等	<p>①地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高めるために、</p> <p>(12101) 国、県、市指定文化財の基礎データを収集し、指定台帳のデジタルデータ入力を実施、データベース化を行った。(文化財課)</p> <p>(12102、12103) 本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人、地域の文化を継承している方を講師に招き、専門的知識・技術力を学ぶことにより、小中学生に夢を与え、学ぶことの意味や楽しさを実感させることに効果を上げている。(学校教育課)</p> <p>※H18年度以降講師を登録。H19-H21：20団体を登録。H21以降、年50回以上実施</p> <p>※民間教育力活用事業：毎年のべ約2,500人から指導を受ける。</p> <p>(12104) 民俗関係の遺産について修理費の補助をしている。(文化財課)</p> <p>(12105、12106) 民俗関係の調査を継続実施している。(文化財課)</p> <p>②伝統文化継承者や団体の育成と活動への支援を図るために、</p> <p>(12201) 市指定文化財の指定に向け、調査研究を行っている。(文化財課) (11203 再掲)</p> <p>(12202) 民俗関係の遺産について修理費の補助をしている。(文化財課)</p> <p>(12203) 伝統芸能公演への支援を行っている。(文化振興課)</p> <p>(12204) 指定民俗文化財保存団体に助成を行っている。(文化財課)</p> <p>③伝統芸能や民族芸能に触れる機会の充実を図るために、</p> <p>(12301、12303) 日本の古典伝統文化である能や歌舞伎の公演の開催や支援をしたり、より親しむために事前講演会を開催している。(文化振興課)</p> <p>(12302) 茶道や能楽に触れる学習機会を提供している。(文化振興課)</p> <p>(12304) 地域の伝統行事や文化をテーマにした講座や体験型学習を重視した伝統文化講座を生涯学習交流館等で開催している。(生涯学習推進課)</p> <p>(12305 から 12307) 民俗関係の調査を継続実施している。(文化財課) (11103 再掲)</p> <p>●『伝統ある文化の伝承の支援』ということについて、各課、概ね良好に事業を実施しているが、短期的に事業目的を達成することは困難なので、長期的かつ継続的な視点にたった事業の展開が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業について目標設定が必要。</li> <li>事業評価の方法の検討が必要。</li> <li>伝統文化承継者や団体の発掘、育成、支援が課題と考えている。</li> </ul>				

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

- ・小中学生のうちから、伝統芸能や民俗芸能に接することができる機会を充実させることが必要。
- ・文化財の指定、登録制度を活用し、文化財の価値を伝えていくことが必要。
- ・保存のための補助が必要。
- ・伝統文化の発表の機会の充実が必要。
- ・地域の伝統芸能については、地域の視点に立つ保存と活用が必要。

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

2-1

目標	2 地域性豊かな市民文化の創造		方向	1 多彩な市民文化活動の支援
方策	①文化活動への助成	②人材・組織の育成	③生涯学習活動への支援	④豊かな心をつちかう教育の推進
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への支援を進め、市民が主体的に行う文化活動のさらなる活性化を図る。</li> <li>・団体や個人への活動場所の提供、活動や成果の発表に対する支援や、新たな人材発掘などを行う。</li> <li>・国、県などの褒章などの推薦、支援施策の紹介を行う。</li> <li>・文化団体、財団、市民個人が行う文化事業への支援を行うとともに、活動の一層の充実と、自立、意識改革を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が芸術文化に触れる多様な機会を創出する。</li> <li>・芸術文化に関する学習の機会を提供する。</li> <li>・文化とのふれあいを求める市民の育成とその活動への支援を目指す。</li> <li>・芸術家・文化人を発掘し、地域における文化振興の先導的な人材として位置付けるとともに、その活動を支援する。</li> <li>・「文化振興によるまちづくり」に対する意識啓蒙、それを支えるボランティア活動の推進、芸術文化事業を企画・制作する人材など、リーダーとなる人材育成を行う。</li> <li>・市民の企画・運営による芸術文化事業に活動の場を提供する。</li> <li>・市民が文化事業の推進や公共施設の運営に参加できるシステムを構築する。</li> <li>・人材のデータベース化、情報の共有化と活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な世代の市民が文化を通じて生きがいを持ち、豊かな生活を送ることができるよう、文化に関連する生涯学習活動への支援を行う。</li> <li>・市民が主催する事業や運営する事業や、出展者・出演者となる事業、文化を通じた世代間交流を図る事業など、幅広く市民が参加できる文化事業の推進し、市民が容易に情報の送受信を行えるようなシステムの構築を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次代の本市を担う子どもたちの文化への興味・関心を高めることを目指し、学校や地域での文化に関連する活動への支援を行う。</li> <li>・学校において、文化事業や作業を主体とした事業を積極的に行う。</li> <li>・学校のカリキュラムとの連携や支援を行い、子どもたちのこころに響く教育や育成事業の展開を図る。</li> <li>・身近な地域において、質の高い芸術に触れることのできる事業を推進する。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化活動の支援</li> <li>②活動場所や発表機会の提供</li> <li>③活動場所確保の支援</li> <li>④文化活動に対する補助制度の設置</li> <li>⑤文化団体の充実、育成</li> <li>⑥6 国、県の文化補助事業の活用推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①芸術家・文化人の発掘・育成・支援</li> <li>②人材・団体情報のデータベース化</li> <li>③ボランティア活動の推進</li> <li>④芸術文化事業の企画制作者の育成</li> <li>⑤まちづくりへの意識改革</li> <li>⑥文化事業の推進と運営を利用者自身で行うシステムの導入</li> <li>⑦文化事業推進スタッフの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民が参加できる事業の推進</li> <li>②市民と一体となった文化事業の促進</li> <li>③文化をテーマとした世代間交流事業の推進</li> <li>④市民主体の情報発信、受信のシステムづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校と連携した文化教育プログラムの実施</li> <li>②幅広い人材を活用した文化教育プログラムの実施</li> <li>③次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開</li> <li>④子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創出</li> <li>⑤文化・学習施設と学校との連携の充実</li> </ul>

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

実 施 事 業 の 評 価 と 課 題 等	<p>①個人・団体の活動を支援し、活性化を図るために、</p> <p>(21101) 市民による文化事業をジャンルにこだわらず後援、共催することにより活動を支援している。(音楽館、文化振興課)</p> <p>(21102) 文化芸術奨励賞を設置することにより、本市の文化振興と市民の文化活動を奨励している。(文化振興課)</p> <p>(21102) 国等の表彰事業等を積極的に周知し、候補者の発掘を行っている。(文化振興課)</p> <p>(21104) 文化活動支援の一環として、活動場所確保のための支援を行ったり、文化・学習施設の貸館業務を例規等に従い、適正かつ安定的に運営している。(文化振興課、生涯学習推進課)</p> <p>(21105、21106) 市内で文化活動を行う個人や団体の発表の場を設けたり、市民芸術祭等を支援、全国大会等に出場する個人や団体に補助金を交付している。(文化振興課)</p> <p>(21108、21109) 市内の文化団体をとりまとめている文化協会等への支援を行ったり、ボランティア活動を推進している。(文化振興課)</p> <p>(21111) 地域の演奏家、演奏団体の育成のため、コンサート企画を募集、選考の上、開催している。(静岡音楽館)</p> <p>(21112) 国・県の文化補助事業について、積極的に提供している。(文化振興課)</p> <p>(21113～21115) 本市の基幹産業であるお茶について多くのイベントを開催し、お茶文化の伝承のみならず、消費者への情報発信、消費の拡大に努めている。(農業振興課)</p> <p>(21116～21118) 市民活動団体に関し、活動拠点の整備・運営、情報の収集や提供を行い、協働事業の創出や事業展開をはかっている。(市民生活課)</p> <p style="padding-left: 20px;">※協働パイロット事業 H18-21：34事業の提案、9事業を実施</p> <p style="padding-left: 20px;">※市民活動協働市場事業 H18-21：4事業の提案、1事業を実施</p> <p>(21119) 文化活動を支援するために図書館において、資料・情報の収集を積極的に行っている。(中央図書館)</p> <p style="padding-left: 20px;">※人口一人当たりの貸出数 H18:562冊、H19:5,69冊、H20:6,13冊、H21:6,69冊(政令市、全国2位)</p> <p style="padding-left: 20px;">※レファレンス(資料等の相談)件数:H18:40,660件、H19:38,604件、H20:38,175件、H21:47,613件</p> <p>(21120) 読み聞かせボランティア活動の実施(中央図書館)</p> <p style="padding-left: 20px;">※読み聞かせボランティア養成講座:毎年約160人以上の受講生</p> <p>(21121～21123) 視聴覚センターにおいて、パソコンボランティア活動支援や視聴覚機材の貸出の支援を行っている。(視聴覚センター)</p> <p>②文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援するために、</p> <p>(21201) 地域の演奏家、演奏団体の発掘、育成を音楽館の事業として実施している。(音楽館)</p> <p>(21202) 助成金制度の活用、後援名義承認による事業推進(文化振興課)</p> <p>(21203) 市内の芸術家や文化人を育成する事業の推進(音楽館)</p> <p>(21204) 各生涯学習施設で活動する文化団体のサークルリストを作成し、問い合わせ等に対応している。(文化振興課、生涯学習推進課)</p> <p>(21205) 文化を担う人が交流する機会を目的に、文化振興財団が『ストリートフェスティバル』を実施、支援をしている。また『市民音楽祭』も効果を上げている。(文化振興課)</p> <p>(21206) 科学館において、展示説明やイベントの補助としてサイエンス・ナビゲーターを配置したり、文化事業開催にあたりボランティアの参加要請や養成を行っている。(科学館)</p> <p>(21207) 文化事業へのボランティア参加募集や養成事業の実施(科学館、音楽館、文化振興課)</p> <p>(21208) 読み聞かせボランティア事業の実施(生涯学習推進課)</p> <p style="padding-left: 20px;">※毎月1回定期的に実施</p> <p>(21209) 文化振興財団の自主企画事業について支援を行っている。(文化振興課)</p> <p>(21210) 学芸員資格取得を目指す学生に科学館等施設において実習の機会を提供している。(科学館)</p> <p>(21212) 可能な文化施設において、指定管理者制度の導入を行っている。(文化振興課)</p> <p>(21213) 市民団体、他機関等の共催事業を積極的に導入・実施した講座を開催している。(生涯学習推進課)</p> <p>(21215) まちづくりについて、主体的に関わっていける人材を養成する「人材養成塾」を開催し、多くの受講生・修了生を輩出している。(生涯学習推進課)</p> <p>③生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくるために、</p> <p>(21301) 親子書道展や公募写真展など、市民が気軽に参加できる事業を開催している。また発表の場で来場者も参加でき文化を親しむことができるような事業を開催している。(文化振興課、科学館、生涯</p>
---	--

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

	<p>学習推進課)</p> <p>(21302) 運営から出演まで市民との協働で行われる事業を推進している。(文化振興課)</p> <p>(21303) 地域学生や高齢者と連携した事業を開催し、今後も継続していく。(文化振興課)</p> <p>(21305) 教員OB会が地域貢献を目指し、子どもたちのための講座等を開催しているため必要な支援をしていく。(文化振興課)</p> <p>(21309) 文化施設において、展覧会等の関連事業としてワークショップなどを開催している。(アートギャラリー)</p> <p>④教育を通じて文化と触れ合う機会を創出するために、</p> <p>(21401) 音楽・美術等文化の各分野において、学校とした連携した事業を展開している。(音楽館、アートギャラリー、科学館)</p> <p>(21402) 子どものための音楽広場、ワークショップ等の事業を文化施設において開催している。(音楽館、アートギャラリー、科学館)</p> <p>(21403) 各施設から小中学校へ文化事業参加への働きかけを行っている。(文化振興課)</p> <p>(21404) 文化庁主催事業である『子どものための優れた舞台芸術体験事業』を導入している。(学校教育課)</p> <p style="padding-left: 20px;">※毎年5-6校で実施</p> <p>(21405) 出張コンサートやほっとひといきコンサートを開催し、大変好評を得ている。(音楽館、アートギャラリー、文化振興課)</p> <p>(210407、210408) 小学校の総合学習の時間を利用して日本茶インストラクターの派遣や、生涯学習施設において『闘茶体験教室』を開催するなど、お茶文化の普及と食育に取り組んでいる。(農業振興課)</p> <p style="padding-left: 20px;">※お茶の美味しい入れ方教室：H21.9月-H22.1月に49校3,932人が参加</p> <p>(21411) 小学生の授業においてインターネットや書籍で調べるだけでなく、実際に作ってみるという体験学習の補助を行っている。(地域産業課)</p> <p>(21412) 小学生が企画した番組をスタジオを利用して制作する体験事業を実施している。(視聴覚センター)</p> <p>●『多彩な市民文化活動の支援』ということについて、各課、概ね良好に事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業について目標設定が必要。</li> <li>・事業評価の方法の検討が必要。</li> <li>・短期的に事業目的を達成することは困難なので、長期的かつ継続的な視点にたった事業の展開が必要。</li> <li>・個人や団体の活動を支援している事業を広く周知させることが必要。</li> <li>・多くの事業を実施しているが満足度を調査するなど評価が必要。</li> <li>・補助事業、助成金等の存在を広く周知させることが必要</li> <li>・本市の基幹産業である『お茶』については、観光等の視点も含めて検討が必要。</li> <li>・ボランティアを含めた各分野の人材育成は今後の文化施策の重要な点となるので、長・短期的な施策の検討が必要。特にリーダーといえる人材の発掘、育成、支援は重要。</li> <li>・市民が気楽に参加できる事業は今後さらに充実させる必要がある。</li> <li>・豊かな心をつちかう教育のためには、学校との連携が必要なので、さらに充実させた事業展開が必要。</li> <li>・インターネットや書籍で調べるだけでなく、体験型の学習は効果を上げている。</li> <li>・(21110) 市民文化の日の創設事業は4年間実施されていない。個人情報保護の観点を含め今後の事業の在り方について検討が必要。</li> <li>・(21204) 人材・団体のデータベース化については、4年間実施されていないので、今後の事業の在り方に検討が必要。</li> <li>・(21306) 市民主体の情報発信、受信のシステムづくりは、4年間実施されていないので、今後の事業の在り方について検討が必要。</li> <li>・実行委員会の自立は、自主財源の確保等課題もある。</li> <li>・視聴覚センターにおける各事業については事業継続を含めて見直しの検討を開始している。</li> <li>・高齢者と地域との連携事業の検討が必要。</li> <li>・市民はハード事業の整備よりソフト事業の整備を充実させてほしいとのアンケート結果があるので、それを踏まえた検討が必要。</li> </ul>
--	---

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

2-2

目標	2 地域性豊かな市民文化の創造		方向	2 文化活動の環境整備
方策	①文化基盤整備の検討	②文化活動拠点の整備	③芸術文化の鑑賞機会の充実	④協働による施設の整備と運営
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化そのものがまちの財産であるという視点に立ち、本市が行うすべての事業において、文化振興に対する行政の意識改革を行う。</li> <li>文化に対する市民の意見や意識の把握を常に行うシステムと、これを反映し、市民が参加できる体制を整え、文化基盤の整備とまちづくりとの連携への展開を図る。</li> <li>既存文化施設の利用形態や施設に役割の明確化について検討を進める。</li> <li>多くの人が文化に触れることができる情報拠点整備やシステム構築の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存文化施設のバリアフリー化、耐震化を進めるとともに、設備の見直しを行う。</li> <li>魅力あふれる空間への改修、新たな文化施設の整備の検討、利用形態等に応じた、より良い運営方法の検討を行う。</li> <li>施設の前約状況を知ることができるシステムづくりや、文化・教育施設のネットワークの構築を目指す。文化施設の民間施設との連携を研究するとともに、利用形態に応じた運営方法の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い事業を推進するとともに、住民ニーズに合った各文化施設の自主事業や、特色ある芸術文化事業を検討し、その開催を図る。</li> <li>民間団体に企業との協力による大型文化事業の開催や招致を企画し、鑑賞機会の充実を図る。</li> <li>市民が常に身近に芸術文化に触れることのできる機会の拡充に努めることで、感性豊かな鑑賞者の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな文化施設の整備について、市民を交え、民間の手法を取り入れるなどの検討を行い、協働による施設整備と運営方法の検討を行う。</li> <li>文化活動の環境整備の充実を目指す。</li> <li>ボランティアやサポーターの育成支援を行うことにより、市民が主体的に文化活動の機会を創出し、市民が互いに学び合うシステムの構築を検討する。</li> </ul>
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化施設の役割の明確化の検討</li> <li>②行政における文化的視点の導入促進</li> <li>③住民意見の反映による文化事業の展開</li> <li>④多様な市民意識を把握するシステムの構築</li> <li>⑤街角の芸術空間の創出</li> <li>⑥集客圏の拡大を図るための戦略の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①バリアフリー化を含めた耐震整備及び改修</li> <li>②魅力あふれる既存文化施設の改修</li> <li>③充実した環境・施設の提供</li> <li>④新規施設の検討</li> <li>⑤文化施設の専門的な運営の検討</li> <li>⑥施設の共有化の検討</li> <li>⑦文化施設ネットワークの構築</li> <li>⑧公民館・図書館・文化施設における民間施設との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①質の高い文化事業開催の推進</li> <li>②特色ある自主事業の実施</li> <li>③新しい文化事業の研究と開催</li> <li>④民間との協力による大型文化事業の検討と招致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新たな文化施設整備における市民・民間との協働</li> <li>②市民主体の情報発信、受信のシステムづくりの支援</li> <li>③市民の文化活動の拠点となる施設運営方法の検討</li> <li>④市民との協働による文化活動の環境整備</li> <li>⑤ボランティア、サポーターの育成</li> <li>⑥市民文化活動参加に対する受け皿づくり</li> <li>⑦市民が互いに学びあうシステムの構築</li> </ul>
実施事業の評価と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化を意識したまちづくりを展開するために、 (22101) 指定管理者制度を導入するにあたり各文化施設の目的、役割を明確にし差別化を行った。(文化振興課)</li> <li>(22102) 文化事業と観光事業を一体とする戦略を検討するため、東海道広重美術館を文化・観光の両方の視点から検証するなど、庁内において検討を実施している。(文化振興課)</li> <li>(22103) 市民意見を反映した文化施策を展開するため、審議会や運営委員会、懇話会等への参画を求めている。(文化振興課)</li> <li>(22105) 各地域の街かどにおいて、文化芸術に関する小規模な事業を実施している。(文化振興課)</li> <li>(22104) 市民意識を把握するため、各文化施設の指定管理者にアンケートを義務づけ運営に反映させている。(文化振興課)</li> <li>(22106) 文化事業と観光を一体としてとらえた文化事業の検討を始めている。(文化振興課、観光シティプロモーション課)</li> <li>②施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整えるために、 (22201、22203、22204) 高齢者や障害のある人など利用者にやさしい文化施設や周辺環境を意識し、整備や備品の購入を行っている。(文化振興課)</li> <li>(22206) 静岡市美術館が計画どおり建設された。(文化振興課)</li> <li>(22207) 指定管理者制度の導入や各施設の運営方法について検討を行っている。(文化振興課)</li> </ul>			

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

<p>(22208) 各文化施設の利用申請の電算化、施設間のシステムの共有化などがされ、利用者、管理者とも利便性が向上した。(文化振興課)</p> <p>(22209) 駅前3館(音楽館、科学館、美術館)の連携事業、生涯学習施設との共催等の検討を行っている(文化振興課)</p> <p>(22210) 隣接した民間施設との連携は相乗効果を生み出しており今後も支援をしていく。(文化振興課)</p> <p>③芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成するために、</p> <p>(22301) 指定管理者制度を導入することにより事業展開に大きな効果があった。(音楽館、アートギャラリー、科学館)</p> <p>(22302、22303) ほっとひといきコンサート、親子のためのコンサート等を実施し効果を上げている。(文化振興課、音楽館)</p> <p>(22304) 長期公演が行える事業を誘致し、本市の文化振興と静岡市中心地の商業振興、活性化が図られた。(文化振興課)</p> <p>(22305) 市民意識を施策に反映するため、アンケート調査等リサーチを実施している。(文化振興課)</p> <p>(22306) 各文化施設による文化芸術事業を推進するため、特別展や海外展を開催している。(文化振興課、文化会館、芹美等)</p> <p>(22307) 小中学生を対象とした文化事業を企画し、鑑賞の機会を拡大を図っている。(文化振興課)</p> <p>(22309) 静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興を行っており、利用者数は目標値にほぼ到達している。(産業政策課)</p> <p>※ビジョン策定後に実施された事業です。</p> <p>④市民との協働を通じた文化施設の整備と運営を検討するために、</p> <p>(22401) 可能な文化施設に指定管理者制度を導入した。(文化振興課)</p> <p>(22402) ボランティア等市民による文化活動拠点の運営を促進している。(文化振興課、科学館)</p> <p>(22404) 情報提供による文化活動への支援、広報の協力や、公共施設のフリースペースを生かした文化事業の開催等を支援している。(文化振興課)</p> <p>(22405～22408) ボランティアの養成、文化団体の設立支援、拠点整備を行っている。(文化振興課)</p> <p>(22409) 市民、企業、行政が連携し街づくりに参加する方法の検討を行っている。(文化振興課)</p> <p>●『文化活動の環境整備』ということについて、各課、概ね良好に事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期的に事業目的を達成することは困難なので、長期的かつ継続的な視点にたった事業の展開が必要。</li> <li>・各事業について目標設定が必要。・事業評価の方法の検討が必要。</li> <li>・H22.5月静岡市美術館オープン、今後は企画についての検討が重要。</li> <li>・H24.8月静岡市清水市市民文化会館『マリナート』が供用開始予定。</li> <li>・美術館、文化会館の建設で、文化活動の拠点となる施設が整備された。今後、施設の維持が必要となるので、計画的な修繕、改修が必要。</li> <li>・施設整備については、市民・利用者のニーズが重要となるのでそれを把握するシステム作りが必要</li> <li>・指定管理者制度が導入され、新たな事業展開が期待できる。</li> <li>・指定管理者に利用者アンケートを義務付けるなど、利用者のニーズをつかみやすくなったので、今後はこの情報を活かしていきたい。</li> <li>・文化事業と観光事業を一体化するための検討が始まった。今後の展開が期待される。</li> <li>・施設整備、周辺整備や備品の購入などに関しては、常に高齢者や障害のある人などを含めた利用者にやさしいものを意識することが重要。</li> <li>・駅前3館や生涯学習施設との共催事業は、新たな企画の展開が見込まれるので積極的に検討が必要。</li> <li>・隣接した民間施設や、近隣の商店街などと協働した事業展開の検討が必要。</li> <li>・ほっとひといきコンサートは大変好評であるので今後も継続していきたい。(H6事業開始、来場者10万人を突破)</li> <li>・クリエイター支援センターの利用者数は、目標数値にほぼ達成している。今後もクリエイターの育成、支援を行うことは重要。</li> <li>・ボランティアの養成を行う事業は継続する必要があると考えている。</li> <li>・指定管理者制度導入の検討は、文化施設が本来有する使命・目的、地域における役割等を踏まえ、文化的側面を十分配慮する必要がある。</li> <li>・(21306) 行政における文化的視点の導入促進事業は、H18-21年度実績はないが、本年度より東海道広重美術館の在り方について検討を始めた。</li> <li>・(22205) 市民団体の受け皿作りは、4年間実施されていないので、今後の事業の在り方について検討が必要</li> </ul>
---

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

目標	2 地域性豊かな市民文化の創造		方向	3 地域資源を生かした文化事業の充実	
方策	①地域資源の発掘と再認識	②地域資源の整備と活用	③地域資源と文化事業の連携		
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の地域資源への意識を通じて地域そのものへの愛着を高めることを目指す。</li> <li>市民との協働により地域資源の発掘に努め、その紹介と適切な保護を図る。</li> <li>資源を利用した地域文化と活動の把握と支援を行う。</li> <li>上記活動と、観光利用や高齢者の生きがい対策等を連携させた有効利用方法を模索していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化人や有識者等の様々な資源を活かした事業の企画、実施、支援など、活用方策の検討を進める。</li> <li>上記地域資源を活かした文化活動への参加意識の高揚を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「しずおか文化」をアピールできる観光スポットや祭り・イベントの紹介等、地域資源と経済的側面を合わせた形でのまちの紹介を積極的に行う。</li> <li>地域資源を核とした文化と経済の融合した施策の充実を図る。</li> <li>メセナによる文化事業の展開や理解を深めるために、地元企業との情報交換を推進する。</li> </ul>		
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域資源の発掘・把握・保護</li> <li>②多彩な地域文化活動の基盤整備</li> <li>③地域資源の有効活用の検討</li> <li>④地域資源バンクの整備</li> <li>⑤地域による文化事業の充実と開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①都市空間を活かした事業の実施</li> <li>②自然を活かした事業の実施</li> <li>③施設や歴史的建造物を活かした事業の実施</li> <li>④地域の祭りへの支援</li> <li>⑤地元を知る講座の開講による意識高揚</li> <li>⑥地元出身の文化人や有識者の活用の検討</li> <li>⑦特色ある地域づくりへの文化的側面からの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「しずおか文化」を意識した観光・旅行業界との連携強化</li> <li>②街を紹介する冊子の作成</li> <li>③文化と融合した商業空間の充実</li> <li>④地元企業とのイベント共催システムの確立</li> <li>⑤地元企業メセナ（文化事業支援）の推進</li> <li>⑥企業との文化活動情報交換会の開催</li> </ul>		
実施事業の評価と課題等	<p>①地域資源を把握し、保護するために、</p> <p>(23101) 各生涯学習施設等において活動している文化団体を記載したリストを作成し情報提供をしている。(生涯学習推進課)</p> <p>(23102) 本市所蔵品や本市ゆかりの美術品の展示を実施している。(文化振興課)</p> <p>(23103、23104) 本市所蔵品の管理、修繕、整備を行い保存する事業を推進している。(文化振興課)</p> <p>(23105) 清水港お茶輸出100周年記念事業を契機に、『お茶のまちづくり宣言』、『お茶のまち100周年構想』策定事業へ展開し『茶どころ日本一計画』策定の基礎とすることができた。『お茶のまち静岡市』を考える契機となった。(農業振興課)</p> <p>(23206) 日本茶を代表する『やぶきた茶』が本市で誕生し100周年を迎え、次代にむけ伝統あるお茶づくりを継承することの意義を広く市民に周知し、本市の茶業振興に資することができた。(農業振興課)</p> <p>※ビジョン策定後に実施された事業です。</p> <p>②地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開するために、</p> <p>(23201) 『羽衣まつり』の一環として、まつりの内容や三保を題材とした俳句コンペティションを実施することにより、郷土愛を育むことにつながった。(文化振興課)</p> <p>(23202) パンフレットや広報誌により地域資源を紹介している。(文化振興課)</p> <p>(23203) 地元の歴史散策や地域資源を題材にした講座を実施することで、自分が住む地元地域について改めて学び直し意識高揚を図る機会を提供している。</p> <p>(23204) 平野富山寄贈作品展や、前田守一作品を『羽衣まつり』ポスター、チラシに活用した。(文化振興課)</p> <p>(23207) 首都圏において、本市各業界の伝統工芸品の素晴らしさをPRする事業を展開している。(地域産業)</p> <p>※ビジョン策定後に実施された事業です。</p> <p>③地域資源を活かし、地域経済の活性化に結びつけるために、</p> <p>(23301) 各文化施設においてお茶会を実施したり、静岡市美術館に設置する作品について、市漆組合・蒔絵組合連携での制作を依頼した。(文化振興課)</p> <p>(23302) 駿府匠宿という地場産業振興施設を所有していることは、他都市にはない大きな強みと言えるため、ものづくりに対する啓蒙等を主眼に運営していく。(地域産業課)</p>				



## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

- (23303) 駿府楽市において本市地場産品を展示紹介し、地場産品の愛用促進と販路拡大を図り、駅構内という立地条件を最大限に生かし、積極的に販売 PR している。(地域産業課)
- (23304) クラフトマンサポート事業により、伝統工芸技術保存と後継者の育成を図っている。(地域産業課)
- (23305) 伝統工芸技術の保存と、後継者の育成を図るため『秀士』として指定、顕彰している。(地域産業課)
- (23306) 伝統工芸技術保存講習会を実施することにより、各業界若手が順調に育っており、また参加者同士による異業種間の交流が図られ効果を上げている。(地域産業課)
- (23307) 冊子『まちかど』の発行支援や市内のタウン誌への情報提供を行っている。(文化振興課)
- (23308) 音楽館、科学館、アートギャラリー利用者にレストラン等静岡駅周辺の協力店にて割引を実施した。参加店も増加傾向にある。(音楽館、科学館、アートギャラリー)
- (23309) 静岡新聞社と『科学特捜隊』を実施するなど、地域企業との連携は重要な施策と考え実施している。(文化振興課、科学館)
- (23310) ホビーを活用した静岡ブランドを全国発信している。(地域産業課)

※ビジョン策定後に実施された事業です。

- 『地域資源を生かした文化事業の充実』ということについて、各課概ね良好に事業を実施しているが、短期的に事業目的を達成することは困難なので、長期的かつ継続的な視点にたった事業の展開が必要。
  - ・各事業について目標設定が必要。
  - ・事業評価の方法の検討が必要。
  - ・集めた情報を積極的に発信していくようなシステムが必要。
  - ・地場産品である『お茶』や観光地である『三保』、このようなものとコラボした企画の検討が必要。
  - ・地域資源をもっと PR することが必要。
  - ・クラフトマンサポート事業のような、伝統的なものの保存と後継者の育成をしている事業は継続した実施が必要。
  - ・駿府匠宿や駿府楽市などを積極的に PR することが必要。
  - ・静岡市美術館に設置する市漆組合・蒔絵組合の合同の作品は、地場産品の良い PR となる。
  - ・伝統工芸を技術の保存や継承は、人材育成が重要になるので継続的なサポートが必要。
  - ・シティプロモーションによる静岡ブランドの確立が重要かつ急務となっている。
  - ・メセナ活動や NPO などの民間団体との協働が重要。

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

3-1

目標	3 しずおか文化の発信と交流	方向	1 全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備
方策	①文化情報の提供	②文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築	
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間施設とも連携した文化施設のネットワーク化を図る。</li> <li>・文化施設内の文化事業のみならず、市内外の文化事業情報、文化団体や文化活動等をデータベース化し、全国に向けて効果的かつ効率的に文化情報を発信できるシステムの整備を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国への情報発信拠点を整備するとともに「しずおか文化」に関する情報を一元的に管理する窓口を検討する。</li> <li>・多様なメディアを効果的に活用しながら、総合的な文化情報の発信力を強化するシステムの検討・開発と市民への周知、広域的なPRの充実を図る。</li> <li>・新たな地域文化の発見のために、双方向の情報交換の場の創出を目指し、文化団体、市民団体、公共施設等を活用した文化情報ネットワークの構築を検討していく。</li> </ul>	
施策イメージ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化施設のデータベース化</li> <li>②文化活動拠点のネットワーク化</li> <li>③文化情報の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文化情報の集約</li> <li>②地元マスコミとの連携・調整システムの確立</li> <li>③ミニコミ誌への積極的提供</li> <li>④国内外への情報伝達拠点整備</li> <li>⑤文化情報の配信方法の検討</li> <li>⑥文化情報網の整備と充実</li> <li>⑦文化団体等の交流を通じた情報交換の促進</li> <li>⑧自ら学ぶ市民の支援と情報の提供</li> </ul>	
実施事業の評価と課題等	<p>①いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供するために、</p> <p>(31101) 各文化施設がHPの充実を図り、イベント等の周知に大きな効果が見られた。(文化振興課)</p> <p>(31102、31103) 音楽館、科学館、アートギャラリー、文化会館、文化センター生涯学習施設がそれぞれ連携業務を展開し、効果を上げている。(文化振興課、文化会館、文化センター、音楽館、科学館等)</p> <p>(31104) 駿府楽市において本市地場産品を展示紹介し、地場産品の愛用促進と販路拡大を図り、駅構内という立地条件を最大限に生かし、積極的に販売PRしている。(地域産業課)</p> <p>(31105) 携帯電話を利用した情報提供システムを活用した事業の実施、JR静岡駅の新幹線ホームに看板を設置し静岡市を訪れた人に魅力を発信している。(観光シティ・プロモーション課)</p> <p>②文化情報の発信力を強化し、「しずおか文化」を発信するために、</p> <p>(31201) 「しずおかイベントニュース」を発行、また芸術関連誌や行事予定表などに情報提供を行い、関連施設情報の集約を図った。(文化振興課、文化会館、音楽館、科学館、芹美等)</p> <p>(31202) マスコミとの連携により、スムーズに情報を発信することができるなど、イベントの周知に大きな効果が認められた。(文化振興課、文化会館、音楽館、科学館、芹美等)</p> <p>(31203) 地域情報誌やFM放送に情報提供することにより、幅広い地域・年齢層への周知や参加者の募集を図ることができた。(生涯学習推進課)</p> <p>(31204) HPの充実を図ることにより、イベント等の周知に大きな効果が得られた。(文化振興課)</p> <p>(31209) 静岡市文化振興財団との協力体制を強化することにより大きな効果が認められている。(文化振興課)</p> <p>(31210) 文化団体からの情報提供を行うため、文化施設へのチラシ等を設置している。(文化振興課)</p> <p>(31211) 障害のある人、高齢者、子ども等様々な方が楽しめる文化事業を積極的に実施している。(文化振興課)</p> <p>(31214) ホビーを活用した静岡ブランドを全国発信している。(地域産業課)</p> <p>※ビジョン策定後に実施された事業です。</p>		

## 静岡市文化振興ビジョン評価シート

- 『全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備』ということについて、各課、概ね良好に事業を実施している。
  - ・短期的に実施が可能で効果が出やすい事業が多いので積極的な事業展開が必要。
  - ・各事業について目標設定が必要。
  - ・事業評価の方法の検討が必要。
  - ・インターネットの急速な普及に伴い多くの情報提供が可能になり、また情報技術の向上により新たな事業展開などが見込まれる。
  - ・活用方法が課題と考える。
  - ・情報を一方的に提供するものでなく、市民、企業との協働が課題と考える。
  - ・海外向けの情報発信が少ない。
  - ・マスコミとの共同事業は文化を発信する上で有効な手段となるので積極的に実施したい。
  - ・(31206) 文化情報の配信方法の検討は、4年間実施されていないので、今後の事業の在り方について検討が必要

# 静岡市文化振興ビジョン評価シート

3-2

目標	3 しずおか文化の発信と交流	方向	2 文化交流事業の促進
方策	①全国や世界との文化交流事業の推進		
展開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しずおか文化」の独自性を認識し、地域への愛着と誇りを醸成するために、全国や世界の文化を受け入れ、また「しずおか文化」を積極的に発信することのできる事業を推進する。</li> <li>・多くの人々が本市を訪れ、文化事業を通じて気軽に交流できるよう、全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設・推進や全国規模の文化事業の立案・開催の推進・支援を行う。</li> <li>・世界の諸都市との文化交流については、さらなる活性化を図る。特に、姉妹都市・友好都市との文化交流については、市民や地域の文化団体との幅広い交流を目指す。</li> <li>・国内外のアーティストとの交流、作品の積極的な招へいを進める。</li> <li>・「しずおか文化」を目的に訪れる国際的な観光客を迎えるための環境整備を推進する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しずおか文化」の魅力在海外にアピールしていくための、情報発信の強化を図る。</li> </ul> </li> </ul>		
施策イメージ	①全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進 ②姉妹都市・友好都市との文化交流の活性化 ③全国規模の文化催事の立案や開催の推進 ④海外との文化交流推進強化 ⑤外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供 ⑥市所蔵の美術品などの海外への出展		
実施事業の評価と課題等	①世界との文化交流を通じて、「しずおか文化」を再確認するために、 (32101) アートギャラリー、科学館のソフト事業として全国巡回企画展を開催。(文化振興課) (32102) 『竹久夢二』や『芹沢圭介』の作品や、コレクションの貸し借りをを行い、文化交流を推進している。(文化振興課、文化会館、音楽館、科学館、芹美、広重美術館等) (32103) 国民文化祭を開催した。(文化振興課) (32103) 静岡市美術館において全国規模の企画展実施のため準備を実施中。(文化振興課) (32104, 32105) 世界各国の子ども達の参加した絵画コンクールの入選作の展示、ほっとひといきコンサートや音楽館の自主事業に海外のアーティストを招へいするなど世界を意識した企画を検討している。(文化振興課、音楽館)  ●『文化交流事業の促進』ということについて、各課、概ね良好に事業を実施しているが、まだ検討の余地が多分にある。 ・各事業について目標設定が必要。 ・事業評価の方法の検討が必要。 ・姉妹都市と・友好都市との文化交流が現在、実施されていない。 ・市所蔵の美術品などの海外への出展は、現在、実施されていない。 ・平成 21 年度に国民文化祭を実施。その後の文化団体同士や文化振興財団との共同事業が実施されている。 ・平成 24 年 8 月の静岡市清水文化会館『マリナート』の開館に合わせ、全国規模の文化催事を検討中である。		

文化振興ビジョン「第1期実施計画」 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して					
目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承				
方向	1 文化財の保護、活用の推進				
方策	1 文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)				
	事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
	11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	国・県・市指定文化財について基礎データを収集し、指定台帳のデジタルデータ入力を行った。	文化財課
	11102	講座の開催	歴史講座等を開催する。	地域の歴史資源を題材にした講座や地元の歴史散策を行う講座を、各生涯学習施設においてそれぞれの地域の特色を生かす形で積極的に実施した。歴史をテーマにした講座や講演会に関しては市民の要望も強くまた実際の応募者数も多いため、今後も事業を継続する方向で、さらには久能山東照宮国宝指定にともない、関連テーマによる記念講演の実施も予定している。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
	11103	伝統文化体験教室等の開催	小学生を対象に伝統文化を体験するため教室等を開催する。	「民俗芸能体験教室 有東木の盆踊りを踊ってみよう!」を平成22・7月24、31日、8月7、14日に実施した。参加者33名。(文化財課) 小学生を対象に夏休みを利用し「ちびっこお茶会」「抹茶体験教室」講座等を実施した。単なるカルチャー体験ではなく、茶道を専門に教える講師を招き和室での礼儀作法も同時に講義するなど、子どもに気軽に伝統文化に親しんでもらうという趣旨目的に沿った事業となった。今後も各生涯学習施設において伝統文化の体験に関する講座を実施していく予定。(生涯学習推進課)	文化財課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
	11104	出前講座開催事業	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	小中学校の賤機山古墳の現地見学の際に職員を派遣し説明した。平成18:2,002人、平成19:2,456人、平成20:2,931人、平成21:3,278人。	文化財課
	11105	展示会・見学会等開催事業	文化財の展示会や見学会を開催する。	埋蔵文化財センターで企画展を毎年4回開催した。また、平成20年度からは、埋文センター及び市民ギャラリーで「文化財展」を毎年1回開催した。	文化財課
	11106	文化財ウォーク開催事業	宇津ノ谷峠の丸子地区や小島陣屋の小島地区などの地元と協働してウォークを開催する。	静岡県、藤枝市との共催で「文化を発信するみち—東海道の魅力—」を実施した。静岡市と宇津ノ谷まちづくり協議会が担当した歴史の道ウォークの参加者は平成22年72名	文化財課
	11107	登呂博物館の各種事業	登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(講座、イベント等)を実施する。	博物館開館中(平成19年6月まで)は登呂遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(行動、イベント等)を実施した。博物館休館中は、登呂遺跡を上手に活用した事業を行うことができた。火起こしなどの体験学習は好評で年間約4万人の参加者があった。	教育総務課
方策	2 文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)				
	11201	指定文化財保存修理等補助金交付事業	文化財の保存修理にかかる補助金を交付する。	久能山東照宮、浅間神社などの国・県・市指定文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行った。	文化財課
	11202	史跡等保存整備事業	特別史跡登呂遺跡や史跡片山庵寺跡等を保存整備し、歴史的な価値を公開、保存する。	県指定史跡三池平古墳の保存整備工事を実施した(平成20~21)。特別史跡登呂遺跡保存整備工事を実施中(平成18~23年度までの予定)。	文化財課
	11203	文化財保護審議会事業	市指定文化財の指定に向けて、候補物件の調査研究を行う。	平成22年度第1回文化財保護審議会を11月1日に開催。そのほか指定候補物件4件の調査を実施した。	文化財課
	11204	歴史の道整備事業	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、文化財の鑑賞者に利便性を提供しその価値を伝える。	平成21年度に、「東海道宇津ノ谷峠越」として国史跡に指定されて、活用イベントに参画した。	文化財課
	11205	文化財やロケーションを意識したイベントの開催	屋外事業やロケーションを意識した文化事業を展開する。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していく必要がある。	文化振興課
	11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	近代化遺産活用連絡協議会副会長市として、全国大会や理事会に参加し、「近代化遺産の日」イベントに参画した。	文化財課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
11207	歴史映像資料アーカイブ管理事業	旧静岡・清水市の貴重な歴史映像をアーカイブとしてホームページで公開する。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
方策 3	文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)			
11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバーソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	エンバーソン邸や瀬名郷倉の管理者との協議会は役割を終え、小島藩陣屋御殿の所有者と協議会を開催している。	文化財課
11302	指定文化財保存修理等補助金交付事業	天然記念物の維持管理に対して補助金を交付するなど地域に対して支援する。	久能山東照宮、浅間神社などの国・県・市指定文化財の保存、修理や維持管理に補助金を交付し、文化財の保存を行った。	文化財課
11303	出前講座開催事業(再掲)	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	小中学校の賤機山古墳の現地見学の際に職員を派遣し説明した。平成18:2,002人、平成19:2,456人、平成20:2,931人、平成21:3,278人。	文化財課
11304	静岡市地図編集委員会・社会科副読本改訂委員会	社会科学習に生かすため静岡市の地図を作成し、地域学習の充実を図ると共に、郷土及び地域学習に必要な社会科副読本を作成し、社会科指導の充実を図る。	各学校では、主に社会科における地域学習において、本地図及び副読本を活用しながら、学習の充実を図っている。地域の情報を収集する際、本課が編集・発行している地図及び副読本は学習を充実させるために有効な地域教科書となる。今後も本事業を継続し、児童生徒の学習のさらなる充実を図っていきたい。	学校教育課
11305	総合学習や調べ学習の援助	小中学校の総合学習や調べ学習において参考となる資料の提供、援助を行う。	「自ら学び自ら考える」調べ学習や教科の枠を超えた総合学習を支援する目的で、小中学校を対象に学校協力貸出(図書館資料の貸出)を行い、その実績は、H18年は6,144冊、H19年は5,080冊、H20年は4,117冊、H21年は7,794冊とおおむね順調と思われる。学校協力貸出は、児童・生徒の自主的・自発的な学習を進めるうえで重要な役割を担っているが、学校(司書教諭・学校司書)の理解及び意欲により、年度や学校において利用状況の格差が生じており、今後より多くの利用にあたっては、学校に対するPR、資料提供のほか支援制度の充実を行い、学校との一層の連携を図る必要がある。	中央図書館

文化振興ビジョン「第1期実施計画」 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	1	しずおかの風土につかわれた歴史と文化の伝承				
方向	2	伝統ある文化の伝承の支援				
方策	1	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	国・県・市指定文化財について基礎データを収集し、指定台帳のデジタルデータ入力を行った。	文化財課
		12102	スペシャリスト派遣事業	本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人を講師に招き、生き方や専門的知識・技術力に学ぶ。	18年度以降毎年講師を新規登録し、各学校のニーズに応じている。19年度から21年度までで20団体・個人を新規登録。21年度からは年間50件以上実施している。児童生徒に夢を与え、学ぶことの意味や楽しさを実感させることに効果を上げている当事業は今後も発展・継続していく。	学校教育課
		12103	民間教育力活用事業	児童・生徒の必要に応じて校外の教育資源を活用する。	毎年のべ約2500人の民間教育力が活用されている。地域の文化を継承している人々の技に触れたり、指導を受けたりする体験は子どもたちに大きな感動を与え、学びを広げ深めることに効果を上げている。当事業は今後も発展・継続していく。	学校教育課
		12104	ふるさと文化再興事業	民俗関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	静岡浅間神社所有の山車について修理費の助成を申請し採択された。現在(H22)修理事業を実施中。	文化財課
		12105	伝統文化財保存伝承事業	写真、文字、映像により、記録するとともに事業の冊子を作成する。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課
		12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課
		12107	印刷物による記録、保存の推進	伝統文化に関する資料を収集し、保存する。	図書館は、地域の専門図書館の機能を有するため、地域の資料を収集し、レファレンス等に活用するために伝統文化に関するいわゆる郷土資料も積極的に収集し、保存をしている。郷土資料の収集・保存は、図書館の重要な責務であることから引き続き進めていく。	中央図書館
方策	2	伝統文化の継承と支援(伝統文化承継者や団体の育成と活動への支援を図る)				
		12201	文化財保護審議会事業(再掲)	民俗・伝統文化継承者にかかる指定候補物件の調査を行う。	平成22年度第1回文化財保護審議会を11月1日に開催。そのほか指定候補物件4件の調査を実施した。	文化財課
		12202	ふるさと文化再興事業(再掲)	民俗関係の遺産について調査し、映像記録を行い報告書を刊行する。	静岡浅間神社所有の山車について修理費の助成を申請し採択された。現在(H22)修理事業を実施中。	文化財課
		12203	伝統芸能公演への支援	市主催の発表機会を提供する。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
		12204	指定文化財保存活用補助金交付事業	有形・無形の市指定民俗文化財の保存団体に対して助成する。	指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	文化財課
方策	3	伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)				
		12301	日本古典伝統文化公演開催事業	日本の古典伝統文化である能や歌舞伎の公演を開催、支援する。	松竹大歌舞伎、三保羽衣薪能とも定着し始め、事業の目的はほぼ達成された。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化会館 文化振興課
		12302	伝統文化講座や学習会の開催及び推進事業	日本の伝統文化である茶道や能楽に触れる学習会の開催を推進する。	毎年参加申込者が増加していることから、事業の効果はあったと考えている。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
		12303	日本古典芸能公演事前講演会開催事業	能や歌舞伎公演に付随し、より公演に親しむための講演会を開催する。	事前講演会は、より古典芸能を理解するために必要であり、毎年好評を得ている。事業効果は高いと思われるため、今後も実施していくことが必要である。	文化会館 運営委員会
		12304	講座の開催(再掲)	伝統文化の学習機会を提供する。	地域の伝統行事や文化をテーマとして扱う講座を実施し、学習の機会を提供した。小学生から高齢者まで、幅広い年齢層を対象に様々な分野で「伝統文化」を扱う講座を実施している。今後も継続的に実施するとともに、「体験型学習」を重視した講座を多く取り入れていくよう検討中。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
12305	伝統文化財保存伝承事業(再掲)	地域に根ざす文化行事を、市ホームページ等で広報し、冊子で紹介する。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課
12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	「民俗芸能体験教室 有東木の盆踊りを踊ってみよう！」を平成22・7月24、31日、8月7、14日に実施した。参加者33名。	文化財課
12307	伝統文化調査事業(再掲)	地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	海岸部の民俗調査として用宗、石部地区の調査を実施した。井川地区の民具調査を実施した。	文化財課



文化振興ビジョン「第1期実施計画」 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	1	多彩な市民文化活動の支援				
方策	1	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		21101	文化活動支援事業	市民による文化事業を共催、後援し、支援する。	ジャンルにこだわらず後援、共催することにより、活動を支援していくことは重要であり、効果があると考えている。今後も引き続き実施していく。	静岡音楽館 文化振興課
		21102	表彰事業	芸術家の発掘や紹介するための芸術文化奨励賞等の顕彰事業や国、県への表彰推薦事業を行う。	芸術文化奨励賞は、本市の文化振興と市民の文化活動を奨励している。また、国からの表彰事業を文化施設・団体に周知し、候補者の発掘を行っている。	文化振興課
		21103	活動場所確保の支援	文化活動場所確保のための支援を行う。	文化活動支援として重要であり、効果があると考えている。今後も引き続き実施していく。	文化振興課
		21104	活動拠点の提供	市が所管する文化・学習施設の貸館事業を、適正かつ安定的に行う。	文化活動支援として重要であり、効果があると考えている。今後も引き続き実施していく。 (文化振興課) 生涯学習施設の貸館について、例規等に従い適正に実施した。今後も継続実施する。 (生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学習課)
		21105	文化活動発表機会提供事業	市内で文化活動を行う個人や団体の発表会を開催する。	参加団体が増加していることから、事業の効果はあったと考えている。今後も引き続き事業を継続していく必要がある。	文化振興課(委託)
		21106	文化活動補助事業	全国大会等に出場する個人・団体や市民が主催する文化活動への補助金を交付する。	事業の目的は達成されている。今後も引き続き実施していく。	文化振興課
		21107	文化団体の充実・育成事業	静岡市文化協会と蒲原町文化協会の融合を支援する等市内文化団体の活動を充実させ、団体を育成する。	合併することにより目的は達成された。融合にむけ、今後とも支援していく。	文化振興課
		21108	ボランティア活動支援事業	竹久夢二研究会等自主的に文化活動開催するボランティア活動を推進する。	事業の目的は達成され、蒲原のおける竹久夢二展が定着しつつある。今後も継続していく。	文化振興課
		21109	文化事業開催支援事業	静岡市民芸術祭等市民による音楽、美術、舞台芸術、科学分野の事業の開催を支援する。	事業の目的は達成されている。事業が定着しはじめ、今後も引き続き実施していく。	文化振興課
		21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	内容の再検討が必要である。	文化振興課
		21111	音楽文化振興企画の募集	静岡県を中心に音楽活動を続けている演奏家、演奏団体からコンサート企画を募集、それを選考委員会が審査をし、合格者の企画を開催する。	地域の演奏家、演奏団体の育成に大きな効果があり、今後も静岡音楽館の事業として支援していく。	静岡音楽館
		21112	国・県の文化補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業の活用と利用を呼びかけるため、情報コーナーを設ける等周知する制度を推進する。	国・県等の文化補助事業の利用と活用を呼びかけるため、文化振興課内にパンフレット・ポスター等を設置すると共に、市内の文化施設等に情報提供を積極的におこなっている。	文化振興課
		21113	駿府本山お茶まつり事業	本市の基幹産業であるお茶の振興を図るため、地元の生産者から、流通、小売業者までが一体となって、静岡本山茶の消費拡大を図り、お茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する。	春のお茶づくり体験教室(4月)、茶詰めの儀(5月)、秋のお茶づくり体験教室(9月)、駿府お茶壺道中行列・口切りの儀(10月)、お茶まつり(11月)、駿府お茶壺浮道中行列フォトコンテスト(2月)等を実施した。これらのイベントを通して、多くの市民、消費者への本山茶の情報発信や消費拡大、文化の伝承等を行うことが出来たと評価している。	農業振興課
		21114	清水お茶のまちづくり事業	地元の生産者、流通関係者及び消費者の一体的な取組みにより、新しいお茶の文化を創造しながら地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」を進める活動を実施する。	地元の茶生産者、茶商、消費者の一体的な取組みにより、茶摘み体験や、茶産地ツアー、地元茶でもてなす会等のイベントを実施し、地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」に資することができたと評価している。	農業振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21115	茶手揉み保存事業	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を行う。	手揉競技会への参加や講習会の実施、茶会や学校・イベントでの手揉実演、平成20年度にはやぶきた誕生100周年記念事業での献上茶謹製事業等を行い、手揉製茶技術の保存と向上を図るとともに、後継者の育成支援、文化振興ができたことと評価している。	農業振興課
21116	市民活動センターの運営	市民活動団体に関する情報収集、情報誌の発行、相談業務、講座の開催等、市民活動を支援する施設の運営。	清水市民活動センター・番町市民活動センターの整備、運営を行った。様々な市民活動情報の収集や提供、及びミニオフィスの貸出による活動拠点の提供ができた。	市民生活課
21117	協働パイロット事業	新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	市民活動団体から提案を募り、34事業の提案のうち9事業を実施した。市民活動団体と市の双方が、新しい協働事業の創出や、協働事業実施のためのノウハウの取得を図ることができた。	市民生活課
21118	市民活動協働市場事業	市民活動団体と市の双方が相互に提案を行う「協働市場」を通じて協働事業を創出する。	市民活動団体及び庁内各課からの提案を募り、4事業の提案のうち1事業を実施した。市民活動団体と市の協働による事業展開を図ることができた。	市民生活課
21119	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、市民の文化活動の支援をする。	「楽しみの読書のためとしての図書館」だけでなく、「市民の仕事・生活に役立つ図書館」として、資料・情報の収集及び提供を実施した。平成20年度の政令指定都市における人口一人当たりの資料費及び蔵書数は、共に第1位で、人口一人当たりの個人貸出数は第2位となり、おむね良好な実施状況と思われる。今後も引き続き図書館サービスの基礎である情報(資料)の収集・提供の維持・向上に努め、市民の生涯学習の支援を進める必要がある。 ①人口一人当たりの貸出数の実績 H18年は5,62冊、H19年は5,69冊、H20年は6,13冊、H21年は6,69冊。 ②レファレンス件数の実績 H18年は40,660件、H19年は38,804件、H20年は38,175冊、H21年は47,613件。 *平成20年4月～6月(図書館電算システムの統合により休館)	中央図書館
21120	読み聞かせボランティア養成講座	地域で活躍できる、読み聞かせボランティアを養成する(全5回)。	読み聞かせは、子どもの本来の能力を引き出し、併せて将来にわたり本を友とする習慣づけをする重要な業務である。子どもを対象とした読み聞かせ能力の向上を図る同講座は、年平均160人超の受講生を輩出しており、ブックスタート等のボランティア活動に従事する等、図書館との協働のほか、団塊の世代対策等としても意義のある事業と認識している。今後も引き続き同事業を実施するとともに、受講生の自発的な活動へのサポート、活動の場の提供など進めていきたい。	中央図書館
21121	パソコンボランティア養成	視聴覚センターパソコン講座のボランティアの活動を支援する。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21122	視聴覚センター貸館業務	活動をするサークル・団体に視聴覚ホールや研修室の貸出をする。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21123	視聴覚機材・教材貸出業務	16ミリ映写機、フィルム等の視聴覚機材・教材の団体貸出をする。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21124	主催イベント ロビーコンサート	主催イベント時にロビーコンサートに市民が出演できる機会を提供する。	各生涯学習施設の主催イベント(センター/交流館まつり等)において、地域で活動する市民団体等と協働し団体が出演できる機会を提供した。今後も現状を維持する形で実施予定。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
方策 2	人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)			
21201	芸術家・文化人の発掘と支援事業	オーディションを開催し、市内の芸術家や文化人を発掘し、その活動を支援する。	地域の演奏家、演奏団体の発掘、育成に大きな効果があり、今後も静岡音楽館の事業として支援していく。	静岡音楽館
21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内により事業推進を支援する。	事業の目的は達成されているとは言えないが、今後とも支援していく必要がある。	文化振興課
21203	地域の芸術家・文化人育成事業	市民による実行委員会形式の文化事業の自立促進を目指すため、市内の芸術家や文化人を育成する事業を実施する。	非常のきめこまやかな指導を実施し、継続することで効果が見込める事業である。今後とも事業を支援していく。	静岡音楽館
21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	目的は達成されていない。(文化振興課) 各生涯学習施設で活動する文化団体(利用団体)のサークルリストを作成し、市民から問い合わせ等があった場合、窓口(あるいは電話対応)にて紹介している。リストの情報は随時更新している。現在、分野や活動施設等を指定してのサークル検索の問い合わせが頻繁に寄せられるため、団体を分類分けした上記サークルリストが役立っており、今後も現状維持の形で継続していく予定(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学習課)

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21205	芸術家など文化を担う人や団体の交流場所の提供	芸術家など文化を担う人が交流する機会や場所を提供する。	文化振興財団の自主事業として「ストリートフェスティバル」は目的をほぼ達成している。今後も引き続き支援していく。「市民大音楽祭」は補助事業として定着してきているが、実行員会の自主財源の確保等、自立に向け支援していく。	文化振興課
21206	ボランティア活動推進事業	科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを養成する等、文化事業開催にあたり、ボランティアを養成する。	事業の目的はほぼ達成されている。事業効果も高く事業展開に重要である。今後も支援事業を継続していく。	静岡科学館
21207	文化施設協力スタッフ養成・活用事業	市内で開催される文化事業へのボランティア参加募集やその参加者を養成する事業を実施する。	事業の目的はほぼ達成されている。事業効果も高く施設運営に重要な位置を占めている。今後も支援事業を継続していく。	静岡科学館 静岡音楽館 文化振興課
21208	来・て・こ絵本の部屋	主催講座で学んだ絵本の読み聞かせボランティアが毎月読み聞かせ会を行う。	月一回定期的に開催している「おはなし会」を、今後も継続的に開催予定。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	文化振興財団が、自主企画し実施している。文化振興には人材が必要不可欠であるため、今後も積極的に支援していく。	文化振興課
21210	学芸員実習の受け入れ	大学等で学芸員資格取得を目指す学生に対し、現場での実習の機会を提供する。	受け入れ施設(指定管理者)の負担は大きくなったが将来的に非常に重要であることから、今後も支援していく。	静岡科学館
21211	まちづくりへの意識改革	文化事業等によるまちづくりを意識するシンポジウムを開催する。	事業の目的は達成された。効果は見えにくいだが、文化施設とまちづくりの関係を考える大きな機会となった。機会があれば、実施していく。	文化振興課
21212	指定管理者制度の導入	指定管理者による文化施設専門事業の展開を図る。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入は実施された。	文化振興課
21213	講座の開催(再掲)	静岡音楽館、静岡アートギャラリーや市民団体等と共催により講座を開催する。	市民団体、他機関等との共催事業を課全体の方針として積極的に導入・実施、毎年徐々に定着化してきている。文化振興に関する事業についてもこの例外ではなく、今後も共催という形での講座を継続的に開催していく。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21214	茶手揉み保存事業(再掲)	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を実施する。	手揉競技会への参加や講習会の実施、茶会や学校・イベントでの手揉実演、平成20年度にはやぶきた誕生100周年記念事業での献上茶謹製事業等を行い、手揉製茶技術の保存と向上を図るとともに、後継者の育成支援、文化振興ができた評価している。	農業振興課
21215	人材養成塾	主体的にまちづくりに関わっていける人材を養成する。	まちづくりに主体的に関わっていける人材を養成するための「人材養成塾」を開催し、これまでに多くの受講生・修了生を輩出してきた。今後も事業を継続していく。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
方策 3	生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)			
21301	市民が参加できる文化事業の推進	おやこ書道展や公募写真コンテストを開催し、一般市民が気軽に参加できる公募展や舞台公演開催事業を推進する。	事業の目的はほぼ達成されている。今後、事業実施にあたり、自主財源の確保等実施団体の自立を支援していく。(文化振興課) 講座で製作した受講生の作品を生涯学習施設のイベントの期間に合わせてロビー展示するなど、学習活動の成果発表を随時行った。受講生のみならず一般来場者も気軽に参加でき文化に親しむことのできる事業として、今後も定期的に実施する予定(生涯学習推進課)	文化振興課 静岡科学館 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21302	市民と一体となった文化事業の促進	運営から出演者まで、市民との協働で行われる文化事業を促進する。	実行委員会が主体となり、事業目的はほぼ達成された。会計等の事務局の自立に向けて、今後支援していく。	文化振興課
21303	幅広い年齢層との文化事業の連携事業	主催事業において、老人や地域学生と連携した事業を開催する。	事業を計画どおり実施し、目的はほぼ達成された。静岡市美術館における事業展開を今後支援していく(文化振興課) 地域の学校や学生と連携した事業を18年度から毎年実施した。今後も事業の継続実施を予定している(生涯学習推進課)	静岡アートギャラリー 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21304	世代間交流事業の推進	大人のための鑑賞、科学教室を開催する等、多くの年齢層が一堂に集い、互いに刺激しあう文化事業を推進する。	事業を計画どおり実施し、目的はほぼ達成された。効果は見えにくいだが今後も事業を支援していく。	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21305	教員の在住地域での活動の奨励と推進	教員が在住している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	教員が自主的に企画し実施された。教員OB会で地域貢献を目指す動きがある。必要な支援を今後とも継続していく。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	多くの問題があり実施されない。	文化振興課
21307	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、生涯学習活動を支援する。	「楽しみの読書のためとしての図書館」だけでなく、「市民の仕事・生活に役立つ図書館」として、資料・情報の収集及び提供を実施した。平成20年度の政令指定都市における人口一人当たりの資料費及び蔵書数は、共に第1位で、人口一人当たりの個人貸出数は第2位となっており、おおむね良好な実施状況と思われる。今後も引き続き図書館サービスの基礎である情報(資料)の収集・提供の維持・向上に努め、市民の生涯学習の支援を進める必要がある。また、生涯学習交流館(清水区)の図書室に対し、図書の選書・除籍等の支援を実施し、図書室の充実を図り、生涯学習交流館の図書室利用者に対するサービスの向上が図れた。①人口一人当たりの貸出数の実績 H18年は5.62冊、H19年は5.69冊、H20年は6.13冊、H21年は6.69冊。 ②レファレンス件数の実績 H18年は40,660件、H19年は38,604件、H20年は38,175冊、H21年は47,613件。 *平成20年4月～6月(図書館電算システムの統合により休館)	中央図書館
21308	各種講座、映画会の開催	視聴覚機器の利用指導講座、パソコン講座、その他文化講座、映画会等を実施する。	計画通り実施平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)
21309	ワークショップなど展覧会の関連事業の	ワークショップなど展覧会の関連事業を実施する。	事業を計画どおりに実施し、目的はほぼ達成された。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、静岡美術館においても実施されるよう支援していく。	静岡アートギャラリー
方策 4	豊かな心をつちかう教育への支援(教育を通じて文化と触れ合う機会を創出する)			
21401	学校と連携した文化教育プログラムの実施	学校内の音楽会や合唱祭を共催する等、音楽・美術・舞台芸術・科学の分野で学校と連携した事業を展開する。	事業目的はほぼ達成され、学校や大学との連携が進んでいる。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も必要な支援を行う。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21402	次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開	子どものための音楽ひろば等、ワークショップ、教室、講座の開催を通じて、芸術文化への子供たちの意識を高める事業を行う。	事業目的はほぼ達成され、毎年参加者が増加していることから、事業の効果はあったと考えている。今後も引き続き事業を展開していくことが必要である。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21403	子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創設	学校独自で実施する芸術鑑賞教室、講座を支援する。	事業は計画どおり実施されたが、学校独自の実施ではなく、科学館、音楽館等からの働きかけであり、学校側の理解、日程調整等難しい課題もある。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も必要な支援を行う。	文化振興課
21404	本物の舞台芸術体験事業	プロの舞台芸術家との連携による発声や演技の指導講座を開催する。	文化庁の主催である本事業には、毎年多くの学校から開催希望が寄せられ、そのうち6校～10校の実施案が採用されている。特に山間小規模校にとっては独自で同様の規模の鑑賞行事を催すのは難しい状況であるために、非常に意義があると言える。このことから、文化庁が事業を継続する限り、静岡市としても事業を継続していく。	学校教育課 (文化庁)
21405	芸術鑑賞機会の充実	出張コンサートやほっとひといきコンサートを開催し、いつでも、どこでも気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供する。	大変好評を博している事業であり、芸術をより深く鑑賞するために非常の効果が高いと思われるため、今後とも事業を継続していく。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 文化振興課
21406	文化・学習施設と学校との連携の支援	市内文化・学習施設と学校との連携を強化し、その推進を図る。	事業の目的はほぼ達成され、今後も継続していくことが重要である。	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21407	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合学習の時間を利用し、本当のお茶の味を覚え葉っぱで飲むお茶習慣を養わせることを目的に日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室を開催する。	日本茶インストラクターを講師として平成21年9月～平成22年1月に実施し、49校3,932人がお茶の入れ方を学んだ。参加した学校の教師や生徒のアンケートから、静岡市のお茶の魅力の周知と、お茶を中心とした食育を図ることができたと評価している。	農業振興課
21408	小学生「闘茶キング」選手権大会	次代を担う子どもたちに本市の特産であるお茶への関心を感化することを狙いに市内小学校や公民館を会場に実施する闘茶体験講座や闘茶大会を開催する。	生涯学習センターと共催で闘茶体験教室を開催するとともに、小学生「闘茶キング」選手権大会を開催し、次代を担う子どもたちに、本市の特産であるお茶への関心を高めることができた」と評価している。	農業振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
21409	講座の開催(再掲)	学校と連携した講座を開催する。	学校を会場とし毎年実施している「家庭教育学級」を、保護者や地域、学校からの要望にも応え今後も継続的に実施。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21410	公開講座の開催	公開講座を開催する。	女性学級や家庭教育学級、高齢者学級で実施している講座を一部一般にも公開する公開講座を、今後も例年通り実施予定。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21411	地場産品体験学習事業	本市の地場産産を学ぶ小学4年生が、授業の一環として駿府匠宿で体験学習を行う際に補助を行う。	小学生にもものづくりと地場産品に対する興味を喚起することができた。〈賤機北小(H22.1)の報告より〉 伝統工芸品について、授業の中でインターネットや本で調べる活動を行ってきたが、なかなかイメージがつかみにくい部分があった。しかし、今回の駿河竹千筋細工を実際に作ってみる活動を通して、工芸品の持つ魅力や特徴などを学び取ることができた。	地域産業課
21412	小学生スタジオ番組制作事業	小学生が企画した番組をスタジオを利用して制作する体験をする。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)

文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	2	文化活動の環境整備				
方策	1	文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		22101	目的別文化施設(施設の差別化)の検討	(仮)文化施設建設検討委員会等を設置し、文化施設の目的を整理し、役割を明確にし、今後の施設建設を検討する。	事業目的はほぼ達成され、指定管理者制度の導入の向け、文化施設の差別化を図った。各施設の目的、役割が明確になり、事業効果が認められる。	文化振興課
		22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	具体的な取り組みは実施しなかったが、東海道広重美術館を文化・観光から検証し、観光施設として位置付ける見直しを図った。	文化振興課
		22103	住民意見の反映による文化事業の展開	市民の意見を反映した文化施策が展開できる体制を整える。	静岡市美術館における事業目的はほぼ達成され、平成22年度オープンした。円滑な運営を実施するために大きな効果が認められた。他の文化施設においても常に市民意見を反映するため、審議会、運営委員会等へ一般市民の参画を求めていく。	文化振興課
		22104	多様な市民意識の把握システムの構築	定期的にアンケート調査を行う等、市民の文化施策への意見を把握する方法を検討する。	指定管理者として、管理施設の利用者アンケートを義務づけ運営に反映させている。事業目はほぼ達成され、効果も高い。今後とも必要な支援を行う。	文化振興課
		22105	街角の芸術空間の創出	各地域の街角において、芸術文化に関する事業展開を実施する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後とも事業支援を行う。	文化振興課
		22106	集客圏の拡大を図るための戦略の検討	文化事業と観光を一体として捉え、集客を目的とした文化事業を検討する。	事業を計画どおりに実施し、目的をほぼ達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後とも実施していく。	文化振興課
方策	2	文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)				
		22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設を目指した施設整備を行う。	目的を達成することはできなかったが、現在調査し実施していく。	文化振興課
		22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	計画等は立案済みであるが、予算上の耐震工事及び大規模改修の即時実施は困難である。	文化振興課
		22203	充実した施設と備品提供事業	利用者の立場に立った文化施設の備品や設備を充実させる。	修繕や備品の購入の際は、利用者の利便性を考慮し実施している。	文化振興課
		22204	文化施設周辺環境整備事業	文化施設の周辺や駐車場や駐輪場等付帯施設の環境を整備する。	事業を計画どおりに整備し、目的を達成した。必要な施設を今後も実施していく。	文化振興課
		22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	多くの課題があり、実施されていない。	文化振興課
		22206	新規文化施設建設検討事業	(仮)静岡市立美術館等の新規文化施設整備の検討や建設を行う。	静岡市美術館事業を計画どおり実施、ほぼ目的を達成した。	文化振興課
		22207	文化施設の専門的な運営方法検討事業	指定管理者制度の導入や各施設の運営方法を検討する。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入が実施された。経費節減、効率化など効果が認められた。今後ともよりよい運営方法を検討していく。	文化振興課
		22208	施設の共有化	文化施設利用申請の電算化等、施設間のシステムを共有化し、情報や利用手続きの簡便化を図る。	計画どおり市システム化され、利用者、管理者ともに利便性が向上し、効果がみとめられた。	文化振興課
		22209	文化施設ネットワークの構築	当課所管文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を指導している。	「しずおかイベントニュース」は広く市民に各イベントの周知するため、大きな効果が認められ、利便性が向上した。また、駅前3館の連携事業、生涯学習センターとの共催等ネットワーク化されつつある。今後とも必要な支援を行っていく。	文化振興課

	事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
	22210	民間施設との連携	民間施設等と連携し、共催文化イベント開催を検討する。	隣接された民間施設との連携は相乗効果を生み出し、効果がみとめられた。今後とも必要な支援を行っていく。	文化振興課
方策	3	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)			
	22301	質の高い事業開催の推進	指定管理者制度を導入し、より上質な、音楽・美術・舞台芸術・文学の分野の事業を開催する。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入が実施され、目的をほぼ達成した。指定管理者が事業を展開し、非常に大きな効果が認められた。今後とも推進していく。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
	22302	気軽に出会える事業の推進	ほっとひといきコンサートの開催等、場所を選ばない文化事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。定着した事業であり、効果が認められる。今後とも必要な支援を行う。	文化振興課 静岡音楽館
	22303	親子で楽しめる事業の推進	親子のためのコンサートの開催等、年令を問わない文化事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成し、効果がみとめられた。今後とも必要な支援を行う。	静岡音楽館
	22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質で長期公演が行える事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図り、市のステータス向上を図る。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。定着しつつある事業であり、効果が認められるため、今後とも継続していく。	文化振興課
	22305	文化事業要望調査実施事業	未来の文化事業の対策に反映させるため、アンケート調査やリサーチを継続実施する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。非常に重要な事業であるため今後とも継続し、市民意見を施策に反映させていく。	文化振興課
	22306	特色ある自主事業の実施	文化施設による芸術文化事業の開催を推進する。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後とも事業を実施していくことが必要である。(文化振興課) 開館25周年特別展や海外展の開催により、静岡市名誉市民、人間国宝である芹沢銈介の偉業を国内外に知らしめることができた。(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
	22307	鑑賞機会の拡大を図る	小・中学生を対象とした文化事業を企画し、鑑賞機会の拡大を図る。	事業は計画どおり実施され、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後とも事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
	22308	新しい文化事業の研究と開催	他都市施設及び各種文化団体の実績や文化系シンクタンクの調査結果を参考にすると等して、新たな文化事業を研究し、実施する。	静岡市美術館事業を計画どおり実施、ほぼ目的を達成した。さまざまな分野で研究し、実験を図ることで効果が現れると思われるため、今後とも事業を実施していくことが必要である。	文化振興課
	22309	しずおかコンテンツバレー構想	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。 コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。	CCC施設利用者数は、目標数値にほぼ到達した。	産業政策課
方策	4	協働による施設の整備と運営(市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討する)			
	22401	文化施設整備における市民・民間との協働	文化施設整備手法に市民や民間との協働を取り入れる。	可能な文化施設の指定管理者制度の導入が実施され、民間との協働は、ほぼ目的を達成した。運営において、市民参画を推進していく。	文化振興課
	22402	市民文化活動の拠点となる施設運営方法の検討	ボランティアを含む文化活動拠点の運営に市民参加を促進する。	事業の目的は達成されている。事業効果も高く事業展開に重要である。今後とも支援事業を継続していく。	文化振興課 静岡科学館
	22403	市民による文化活動の環境整備	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後とも継続して実施する。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
22404	市民主体の文化活動施設の提供	眠っている公共施設のフリースペースを生かした文化事業の開催等、新たな文化活動拠点を発掘する市民に対し支援を行う。	要望にすぐに応え、ほぼ目的を達成した。今後も継続して実施する。	文化振興課
22405	ボランティア、サポーターの育成	(仮)文化事業ボランティア登録センターを設置する等、市の文化活動への協力者を育成する。	事業の目的は達成されている。事業効果も高く施設運営に重要な位置を占めている。今後とも支援を継続していく。	文化振興課
22406	絵本読み聞かせボランティア養成講座	来・て・こで読み聞かせ活動を行うボランティアを養成する。	平成19年度から継続して実施した読み聞かせボランティア養成事業を、今後も要望や状況に応じて実施し、運営の一端を市民との協働で行っていくくみを継続していく。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
22407	市民文化活動参加に対する受け皿づくり	文化団体の市民への周知と団体設立の支援を行う。	要望にすぐに応え、ほぼ目的を達成した。事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も実施する。	文化振興課
22408	市民の文化活動の拠点作り	市民の文化活動のよりどころとなる拠点の整備をする。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。文化活動の拠点づくりは、文化の振興に大きな効果がえられることから今後も継続して実施する。	文化振興課
22409	互いに高めあう学びのシステムの模索	市民と企業と行政が互いに街づくりに参加するシステムの方法を模索する。	連携することは重要な施策であり、効果も高くまず出来るところから始めた。今後も継続して実施するとともに検討していく。	文化振興課



文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	2	地域性豊かな市民文化の創造				
方向	3	地域資源を活かした文化事業の充実				
方策	1	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。 (公民館利用団体のサークルリスト作成)	個人情報保護の観点から、団体にしぼり情報提供を実施した。十分ではないが成果得られている。今後も継続して実施する(文化振興課) 各生涯学習施設で活動している文化団体(利用団体)を分類分けしたリスト(サークルリスト)を作成し、窓口にて市民に対して随時情報提供した。地域で活動する人材を発掘・把握し市民に利用しやすい形で保存・保護できる意味から、今後も現状と同じ形で実施していく(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
		23102	多彩な地域文化活動の基盤整備	地域資源の基である、人を育てる事業を展開する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 市所蔵品の整備と展示を今後も継続して実施する。	文化振興課
		23103	地域資源再認識事業	平野富山や竹久夢二作品等、市が収蔵する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 本市ゆかりの美術品の展示は、効果があるので今後も継続して実施する。	文化振興課
		23104	地域資源整備事業	美術品台帳を整備する等、市が収蔵する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 今後も継続して実施する。	文化振興課
		23105	清水港お茶直輸出100周年記念事業	清水港からお茶を直接輸出して、平成18年5月13日で100年になるため、この機会に先人達の功績を顧みるとともに、本市茶業のさらなる発展をめざし記念イベントを実施する。	当該事業を契機に、「お茶のまちづくり宣言」、「お茶のまち100年構想」策定事業の実施へと展開し、後の「茶どころ日本一計画」策定の基礎とすることができたことから、「先人の功績を周知するとともに、これからの“お茶のまち静岡市”をまちぐるみで考える契機とする」とした当初の目的を果たすことができ、事業成果が得られたと評価している。	農業振興課
		23206	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業	日本茶を代表する優良品種「やぶきた」が静岡市において選抜され、平成20年で100年を迎えるため、この偉業を顧みるとともに、伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民と共有し、その魅力を紹介する記念イベントを実施する。	日本茶を代表する茶の優良品種「やぶきた」が、ここ静岡市で誕生し100周年を迎え、ふるさとが生んだ偉業を顧み、次代にむけ伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民に周知し、静岡市の茶業振興に資することが出来たと評価している。	農業振興課
方策	2	地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)				
		23201	地域資源活用事業	地域資源を活かした舞台芸術・文学事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 郷土愛を育むことにも繋がり、成果が認められることから三保の地に限らず、地域資源をいかした事業を展開していくことが必要である。	運営委員会 (文化振興課)
		23202	地域資源紹介事業	地域資源(施設・自然・催事)を紹介する事業を行う。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 事業を継続していくことで、効果が現れると思われるため、今後も継続して実施する。	文化振興課
		23203	講座・ワークショップ開催事業	地元を知る講座の開講による意識高揚を図る。	生涯学習センターとの連携事業が充実し、参加者も増加していることから効果が認められる。今後も必要な支援を行っていく(文化振興課) 地元の歴史散策を行ったり地域資源を題材にしたりする講座を実施することで、自分が暮らす地元地域について改めて学び直し意識高揚を図る機会を提供した。今後は地域で活動する団体と協働する形で事業を拡大していく(生涯学習推進課)	静岡科学館 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
		23204	地元出身文化人や有識者の活用の検討	地域で活動する文化人を取り上げ、周知させ、その活用を図る。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 市の収蔵品ばかりでなく地元出身文化人・有識者の活用を検討していく。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
23205	特色ある地域づくりへの側面的支援	地域の文化活動を行う団体や個人を支援方法を検討する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。 今後も継続して実施する。	文化振興課
23207	伝統工芸品首都圏PR事業	静岡市伝統工芸品展～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催	首都圏において、本市各業界の伝統工芸品の素晴らしさをPRすることができた。	地域産業課
方策 3	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)			
23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	計画どおり事業を実施し、地場産業の振興と地域理解に効果が認められた。 今後も地域産業との連携事業を推進していく。	文化振興課
23302	駿府匠宿管理運営	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	産業の空洞化が叫ばれる昨今、このような地場産業振興施設を持っていることは他都市に負けない大きな強みと言える。今後も地場産業の振興と、ものづくりに対する啓蒙等を主眼に運営していく。	地域産業課
23303	駿府楽市地場産品展示コーナー運営	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	本市地場産品の展示紹介を通じ、地場産品の愛用促進と販路拡大を図り、駅という立地条件を最大限に活かし、積極的に販売PRしている。市内外の人に地場産品をPRすることができる。	地域産業課
23304	クラフトマンサポート事業	地場産業界の人材育成・後継者育成のため、技術習得希望者の現場実習に係る経費を指導事業所等に支援する。	地場産業界での後継者育成や新規就業者促進等を図るうえで、大きな効果を発揮している。	地域産業課
23305	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市伝統工芸産業に長年従事する技術者の内から、特に優秀な技術を有し、技術の伝承と発展に顕著な功績を有する者を、「静岡市伝統工芸技術秀士」として顕彰すると共にその作品を展示し、伝統工芸をPRする。	伝統工芸技術保存と、後継者の育成を図るため、秀士」として指定、顕彰している。H21には、東京池袋にて熟練職人である静岡市伝統工芸技術秀士の作品展示を実施し、好評を得た。	地域産業課
23306	伝統工芸技術保存講習会	本市伝統工芸業界の後継者育成と技術の保存継承を図るため、関係業界に従事している若手技術者に静岡市伝統工芸技術秀士等を講師として技術講習を行う。	各業界若手が順調に育っており、それぞれの技術レベルが向上し着実に効果をあげている。また、伝統工芸の参加者同士による異業種間での交流が図られるなど思わぬ効果も生んでいる。	地域産業課 (財)静岡産業振興協会
23307	街を紹介する冊子の作成	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を行う。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して実施する。	文化振興課
23308	商業空間やイベントと融合した文化事業の充実	商店街と音楽、飲食街と展示、など文化と商業の融合が図れる事業を行う。	地域との連携事業が充実し、目的をほぼ達成している。 参加店が増加し、効果が認められることから、今後も必要な支援を行っていく。	静岡音楽館 静岡科学館 静岡アートギャラリー
23309	地元企業とのイベント共催システムの確立	地域企業と連携した文化事業の募集やメセナ事業を展開する。	地域企業との連携は重要な施策であり、効果も高くまず出来るところから始めた。今後も継続して実施する。	文化振興課 静岡科学館
23310	「ホビーマチ静岡」推進事業	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーマチ静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	シティプロモーションによる静岡ブランドの確立がより重要かつ急務となっているなか、本市戦略資源であるホビーを活用し全国に情報発信を行い認知度を高めることができた。	地域産業課

文化振興ビジョン「第1期実施計画」 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して						
目標	3	しずおか文化の発信と交流				
方向	1	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備				
方策	1	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)				
		事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
		31101	文化施設のデータベース化	市内文化施設を連携した施設紹介のデータベース化を図り公開する。	HPの充実を図り、イベントの周知に大きな効果が認められた。今後も継続して実施する。	文化振興課
		31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	音楽館、科学館、アートギャラリー、文化会館、文化センター、生涯学習センターがそれぞれ連携事業を展開し、目的をほぼ達成している。効果も高く、今後も事業を支援していく。	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
		31103	文化情報の充実	文化施設において各種公演チケットを販売する等、人・施設・催事の情報収集を充実させる。	音楽館、科学館、アートギャラリー、文化会館、文化センター、生涯学習センターがそれぞれ連携し、目的をほぼ達成している。効果も高く、今後も事業を支援していく(文化振興課) 来館者の求める芸術関連の情報を適切に提供することができた。(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
		31104	駿府楽市地場産品展示コーナー運営(再掲)	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	本市地場産品の展示紹介を通じ、地場産品の愛用促進と販路拡大を図り、駅という立地条件を最大限に活かし、積極的に販売PRしている。市内外の人に地場産品をPRすることができている。	地域産業課
		31105	ようこそ静岡推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話をツールとしたコミュニケーションシステムの構築、運用を行う</li> <li>・携帯メールを活用した情報提供およびアンケートによる観光客のニーズ把握</li> <li>・登録者とのコミュニケーションによるリピーターの獲得</li> </ul>	平成18年度から20年度については、携帯電話を利用した情報提供を行うシステムを活用した事業を実施したが、登録者数が伸び悩み、効果が見込めず廃止した。それに代わるものとして、静岡市の玄関である静岡駅の新幹線ホームに「ホビーのまち しずおか」看板を掲示し、観光資源の一つであるホビーをおとして、市外・県外から来た人に魅力を発信している。来年度については、看板を継続するか検討中であるが、静岡市を訪れた人に魅力を感じてもらえる事業を行っていきたい。	観光課・シティプロモーション課
方策	2	文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)				
		31201	文化情報の集約	分散している文化情報を整備し、文化関係施設のネットワーク化を図り集中管理を図る。	「しずおかイベントニュース」は広く市民に各イベントの周知するため、大きな効果が認められ、利便性が向上した。今後も事業を支援していく。(文化振興課) 芸術関連の誌面や行事予定表などへの情報提供により、関連施設情報の集約を図ることができた。(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
31202	地元マスコミとの連携・調整システムの確立	地元マスコミに文化情報コーナーの設置を求め、情報を発信していく。	マスコミとの連携が推進され、イベントの周知に大きな効果が認められる。今後とも推進していく(文化振興課) 地元マスコミとの連携によりスムーズに情報を発信することができた(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
31203	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供する。	生涯学習施設で行う事業について、ポケタンやFM情報等に毎月情報提供し外部の情報媒体に記事を掲載することで、事業の幅広い地域・年齢層への周知や参加者の募集を図ることができた。広域的な広報の方法として特に効果的と考えられるため、今後定期的・継続的に実施していく。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
31204	国内外への情報伝達拠点整備	文化情報発信拠点を整備し、事業開催告知が平等に行えるよう検討する。	HPの充実を図り、イベントの周知に大きな効果が認められた。今後も継続して実施する。	文化振興課
31205	駿府匠宿管理運営(再掲)	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	産業の空洞化が叫ばれる昨今、このような地場産業振興施設を持っていることは他都市に負けない大きな強みと言える。今後も地場産業の振興と、ものづくりに対する啓蒙等を主眼に運営していく。	地域産業課
31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	多くの課題があり、実施されていない。	文化振興課
31207	文化情報網の整備と充実	情報伝達システムやソフトを随時更新し、ホームページの充実を図る。	HPの充実を図り、イベントの周知に大きな効果が認められた。今後も継続して実施する。	文化振興課
31208	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	それぞれの文化施設において、文化情報を発信し大きな効果が認められている。 静岡市美術館を建設し、新たな拠点づくりを実施した。	文化振興課 静岡音楽館
31209	文化団体等の交流を通じた情報交換の促進	文化団体との連携を強化し、団体の事業活用を一緒に検討する。	文化財団を中心に、協力体制の強化を実施し、大きな効果が認められた。今後も継続して支援していく。	文化振興課
31210	自ら学ぶ市民の支援と情報の提供	個別に活動する文化団体への情報提供を強化する。	HP、文化施設へのちらしの設置等を実施し、大きな効果が認められた。今後も継続して実施していく。	文化振興課
31211	文化的バリアフリーの推進	障害者、高齢者、子ども等様々な年齢層が楽しめる文化事業を推進する。	各文化施設において、積極的に取り組み事業を実施しほぼ目的を達成している。効果も認められることから引き続き支援していく。	文化振興課
31212	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供、ホームページでも公開する。	計画通り実施 平成23年度以降施設の存廃について見直しを行う予定であるため、事業の継続についても検討中	中央図書館 (視聴覚センター)

事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
31213	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	市外において実施する事業は実施しなかった。	文化振興課
31214	「ホビーのまち静岡」推進事業(再掲)	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	シティプロモーションによる静岡ブランドの確立がより重要かつ急務となっているなか、本市戦略資源であるホビーを活用し全国に情報発信を行い認知度を高めることができた。	地域産業課

文化振興ビジョン「第1期実施計画」 事業評価

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して					
目標	3	しずおか文化の発信と交流			
方向	2	文化交流事業の推進			
方策	1	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)			
	事業番号	事業名	事業内容	評価	担当課
	32101	全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進	全国縦断公演を企画、共催できるシステムを創設する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して支援する。	文化振興課
	32102	国内都市との文化交流の活性化	文化交流事業を推進する。 (作品・コレクションの貸し借り)	要望に応じ随時実施し、目的を達成した。今後も継続して実施する。(文化振興課) 作品や収集品の貸借により文化交流を推進することができた。(芹美)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館 東海道広重美術館
	32103	全国規模の文化催事の立案・開催の推進	日本・世界を対象とした大規模な文化事業を企画し、実施する。	国文祭を実施し、ほぼ目的を達成した。大きな効果が認められた。静岡市美術館の開館後、全国規模の企画実施のため準備している。今後も継続して実施していく。	文化振興課
	32104	海外との文化交流推進	ロシア写真展を開催する等、文化を通じて、海外都市との交流を活発化させる。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して支援する。	文化振興課
	32105	外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供	音楽を通じ、世界的に活躍するアーティストを招聘し、公演を行う他関連事業を開催する。	計画どおり事業を実施し、ほぼ目的を達成した。今後も継続して支援する。	文化振興課 静岡音楽館

文化振興ビジョン「第1期実施計画」進捗状況調査票（111～123）

個性あるしずおか文化の創造と継承が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して											
目標	1 しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承										
方向	1 文化財の保護、活用の推進										
方策	1 文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)										
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	×	基礎データを収集している段階。	×	基礎データを収集している段階。	○	指定文化財基礎データ収集中	○	指定文化財基礎データ収集中	文化財課
11102	講座の開催	歴史講座等を開催する。	○		○		○	「文化財ボランティア入門講座(全5回)」 「アイセル歴史講座(全10回)」など、全26事業を実施	○	「駿府歴史散歩(全1回)」 「文化財ボランティア講座(全5回)」など、全29事業実施した。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
11103	伝統文化体験教室等の開催	小学生を対象に伝統文化を体験するため教室等を開催する。	○		○		○	①生涯学習推進課・小学生とその保護者を対象に茶道を学ぶ「ちびっこお茶会(全2回)」など全8事業を実施 ②文化財課:	○	・大人から小学生までを対象とした「有東木盆踊り体験教室」を7月～8月に実施(文化財課) ・「夏休み親子抹茶教室(全1回)」など10事業を実施した。(生涯学習推進課)	文化財課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
11104	出前講座開催事業	学校からの隠機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	○		○		○	小中学校の隠機山古墳への社会科見学や生涯学習センター講座などの登録遺跡などへの現地見学の際に職員を派遣し説明した。(2月未現在53回)	○	小中学校の隠機山古墳への社会科見学や生涯学習センター講座などの登録遺跡などへの現地見学の際に職員を派遣し説明した。(44回) 市民を対象に文化財講座を実施した。	文化財課
11105	展示会・見学会等開催事業	文化財の展示会や見学会を開催する。	○		○		○	市民ギャラリーで「文化財展」を開催した。埋蔵文化財センターで企画展を4回実施した。	○	市民ギャラリーで「文化財展」を開催した。埋蔵文化財センターで企画展を4回実施し、子供向け体験講座を2回実施した。	文化財課
11106	文化財ウォーク開催事業	宇津ノ谷峠の丸子地区や小島陣屋の小島地区などの地元と協働してウォークを開催する。	○		○		○	11月2日 丸子宇津ノ谷地区で地元と協働で文化財ウォークを実施した。	○	11月1日 丸子宇津ノ谷地区で地元と協働で文化財ウォークを実施した。	文化財課
11107	登録博物館の各種事業	登録遺跡を中心とする歴史や文化に関する常設展・企画展・特別展・教育普及活動(講座、イベント等)を実施する。	○		○		○	博物館休館中は、登録公園内で野外体験活動等を実施。	○	登録遺跡を活用した火起こしなどの弥生時代の生活体験活動を実施。	教育総務課
方策	2 文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)										
11201	指定文化財保存修理等補助金交付事業	文化財の保存修理にかかる補助金を交付する。	○		○		○	文化財の保存修理にかかる補助金10件を交付した。	○	文化財の保存修理にかかる補助金9件を交付した。	文化財課
11202	史跡等保存整備事業	特別史跡登録遺跡や史跡片山廃寺跡等を保存整備し、歴史的な価値を公開、保存する。	○		○		○	特別史跡登録遺跡保存整備事業を実施した(～平成23年度まで)。県指定史跡三池平古墳の保存整備事業を実施した(～平21)。	○	特別史跡登録遺跡保存整備事業を実施した(～平成23年度まで)。県指定史跡三池平古墳の保存整備事業を実施し、12月から一般公開を開始した。	文化財課
11203	文化財保護審議会事業	市指定文化財の指定に向けて、候補物件の調査研究を行う。	○		○		○	旧由比町指定文化財の指定見直しを中心に調査と指定検討を行った。	○	建礼寺の仏像を中心に調査と指定を行った。	文化財課
11204	歴史の道整備事業	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、文化財の鑑賞者に利便性を提供しその価値を伝える。	○		○		○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性をはかる。	○	宇津ノ谷地区の東海道を整備して、景観を保持し、鑑賞者の利便性をはかる。	文化財課
11205	文化財やロケーションを意識したイベントの開催	屋外事業やロケーションを意識した文化事業を展開する。	○		○		○	羽衣伝説発祥の地「三保」において、フランス人舞踊家エレヌ・ジュグリスの顕彰及び日仏国際交流推進のため、「羽衣まつり」を開催し、羽衣の松を鏡板に、「羽衣」などの新能公演や「エレヌ祭り」などを実施した。	○	羽衣伝説発祥の地「三保」のロケーションを生かし、羽衣の松を鏡板に、新能公演など「羽衣まつり」を開催した。	文化振興課
11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	×	近代化遺産については、まだ指定・登録の実績がない。	○		○	近代化遺産の登録文化財公開等を行っている。	○	近代化遺産の登録文化財公開等を行っている。	文化財課
11207	歴史映像資料アーカイブ管理事業	旧静岡・清水市の貴重な歴史映像をアーカイブとしてホームページで公開する。	○		○		○	113タイトルをホームページで公開中	○	113タイトルをホームページで公開中	中央図書館 (視聴覚センター)
方策	3 文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)										
11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバーソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	×	各所有者や管理者との連絡調整が未了のため。	×	各所有者や管理者との連絡調整が未了のため。	○	瀬名郷倉、エンバーソン邸の管理団体と定期的に連絡協議を持った。	○	瀬名郷倉、小島陣屋の管理団体と連絡協議を持った。	文化財課
11302	指定文化財保存修理等補助金交付事業	天然記念物の維持管理に対して補助金を交付するなど地域に対して支援する。	○		○		○	天然記念物の管理者に対して補助金を交付した。	○	天然記念物の管理者に対して補助金を交付した。	文化財課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
11303	出前講座開催事業(再掲)	学校からの賤機山古墳現地見学や公民館からの歴史解説等の要請に基づき職員を派遣して応える。	○		○		○	11104と同じ	○	11104と同じ	文化財課
11304	静岡市地図編集委員会・社会科副読本改訂委員会	社会科学習に生かすため静岡市の地図を作成し、地域学習の充実を図ると共に、郷土及び地域学習に必要な社会科副読本を作成し、社会科指導の充実を図る。	○		○		○	静岡市内、小学校3年生、中学校1年生全児童生徒に配布した。同時に、来年度の改訂に備え、新版の企画案を作成した。	○	平成22年度版小中学校社会科地図の改訂編集を行い、市内全小3・中1児童生徒に配布した。副読本については、小学校で大改訂(初版)、中学校で小改訂(第6版)を行い、それぞれ児童生徒に配布した。	学校教育課
11305	総合学習や調べ学習の援助	小中学校の総合学習や調べ学習において参考となる資料の提供、援助を行う。	○		○		○	夏休み推薦図書等を提供。各学校を対象に調べ学習用の図書を貸し出す「学校協力貸出」を実施した。	○	『学校用図書館利用案内』を作成提供するとともに、各学校を対象に調べ学習用の図書を貸し出す「学校協力貸出」を実施した。	中央図書館
方向 2	伝統ある文化の伝承の支援										
方策 1	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)										
12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	×	基礎データを収集している段階。	×	基礎データを収集している段階。	○	11101と同じ	○	11101と同じ	文化財課
12102	スペシャリスト派遣事業	本市の第一線で活躍する様々な専門家や達人を講師に招き、生き方や専門的知識・技術に学ぶ。	○		○		○	小中学校にスペシャリストとして登録されている能や駿河竹千筋細工などの伝統芸能や伝統工芸士などの講師を派遣し、特別授業を実施した。	○	41校で50件実施した。本市の第一線で活躍する伝統文化の達人等から生き方や専門的知識・技術に学ぶ機会は、児童生徒に夢を与え、学ぶことの意味や楽しさを実感させることに効果を上げている。	学校教育課
12103	民間教育力活用事業	児童・生徒の必要に応じて校外の教育資源を活用する。	○		○		○	小中学校が、地域の人を昔の遊びや戦争体験などの講師として招くなど、民間の教育力を積極的に活用するための支援を行った。	○	市立小中学校でのべ約2500人の民間教育力が活用された。地域の文化を継承している人々の技に触れたり、指導を受けたりする体験は子どもたちに大きな感動を与え、学びを広げ深めることに効果を上げている。	学校教育課
12104	ふるさと文化再興事業	民俗関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	○		○		×	国庫補助事業・・・申請したが採択されなかった。	○	該当する民俗文化財の基礎資料収集にあたっている。	文化財課
12105	伝統文化財保存伝承事業	写真、文字、映像により、記録するとともに事業の冊子を作成する。	○		○		○	伝統文化ガイドブック「粟科川流域の民俗行事」発行	○	伝統文化ガイドブックのデジタル化を実施	文化財課
12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	×	予算化されなかったため。	○		○	海岸部緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中(5年事業の2年目)	○	海岸部緊急歴史民俗調査事業の一環として資料収集中	文化財課
12107	印刷物による記録、保存の推進	伝統文化に関する資料を収集し、保存する。	○		○		○	全館で伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	○	伝統文化に関する資料を収集し、保存した。	中央図書館
方策 2	伝統文化の継承と支援(伝統文化継承者や団体の育成と活動への支援を図る)										
12201	文化財保護審議会事業(再掲)	民俗・伝統文化継承者にかかる指定候補物件の調査を行う。	○		○		×	20年度では民俗・伝統文化継承者に該当する指定候補がなかった。	×	21年度では民俗・伝統文化継承者に該当する指定候補がなかった。	文化財課
12202	ふるさと文化再興事業(再掲)	民俗関係の遺産について調査し、映像記録を行い報告書を刊行する。	○		○		○	12105、12106と同じ	○	12105、12106と同じ	文化財課
12203	伝統芸能公演への支援	市主催の発表機会を提供する。	○		○		○	市主催ではないが、「羽衣まつり」開催に補助金を交付することにより、地元保存会による「羽衣の舞」の奉納や、清水第五中学生徒による能の発表といった、伝統芸能の発表機会を支援している。	○	「羽衣まつり」開催時に地元保存会による「羽衣の舞」の奉納や、清水第五中学生徒による謡や舞を披露した。	文化振興課
12204	指定文化財保存活用補助金交付事業	有形・無形の市指定民俗文化財の保存団体に對して助成する。	○		○		○	7件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	○	7件の指定民俗文化財保存団体に助成を行った。	文化財課
方策 3	伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)										
12301	日本古典伝統文化公演開催事業	日本の古典伝統文化である能や歌舞伎の公演を開催、支援する。	○		○		○	静岡市民文化会館にて松竹大歌舞伎を、清水区三保にて三保羽衣薪能を開催した。	○	文化会館にて松竹大歌舞伎を、清水区三保にて三保羽衣薪能を開催した。	文化会館 文化振興課
12302	伝統文化講座や学習会の開催及び推進事業	日本の伝統文化である茶道や能楽に触れる学習会の開催を推進する。	○		○		○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託実施し、小中学生とその保護者を対象に、茶道、能楽、謡等の伝統文化に触れる学習会を実施した。	○	「伝統文化寺子屋」を文化振興財団へ委託し、小中学生とその保護者を対象に、茶道、能楽、謡等の伝統文化に触れる学習会を実施した。	文化振興課
12303	日本古典芸能公演事前講演会開催事業	能や歌舞伎公演に付随し、より公演に親しむための講演会を開催する。	○		○		○	松竹大歌舞伎では事前講演会を開催、三保羽衣薪能では能楽教室を開催した。	○	松竹大歌舞伎、三保羽衣薪能において、事前講演会を開催した。	文化会館 運営委員会
12304	講座の開催(再掲)	伝統文化の学習機会を提供する。	○		○		○	小学生を対象に「夏休み親子演芸 三太と遊ぼうズメの唄」など、全16事業を実施	○	「歌舞伎を楽しむ為の入門講座」など、全7事業を実施した。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
12305	伝統文化財保存伝承事業(再掲)	地域に根ざす文化行事を、市ホームページ等で広報し、冊子で紹介する。	○		○		○	12105と同じ	○	12105と同じ	文化財課



事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	事業予算が予算化されなかった。	○	11103と同じ	文化財課
12307	伝統文化調査事業(再掲)	地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	○		○		○	12106と同じ	○	12106と同じ	文化財課

文化振興ビジョン「第1期実施計画」進捗状況調査票(211~214)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して											
目標 2 地域性豊かな市民文化の創造											
方向 1 多彩な市民文化活動の支援											
方策 1 文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21101	文化活動支援事業	市民による文化事業を共催、後援し、支援する。	○		○		○	静岡音楽館で「第13期リコーダーアンサンブル講座」を共催した他、様々な文化事業の後援名義使用を許可し、広報活動等の支援をした。	○	静岡音楽館「リコーダーアンサンブル講座」を共催した。文化振興課・様々な文化事業の後援名義使用を許可し、活動の支援に努めた。	静岡音楽館 文化振興課
21102	表彰事業	芸術家の発掘や紹介するための芸術文化奨励賞等の顕彰事業や国、県への表彰推薦事業を行う。	○		○		○	広報しずおか、市ホームページ等含む各文化施設等へ推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施。平成20年度は、華道部門、音楽・太鼓部門の2名が受賞。	○	広報、市ホームページ等への掲載や、各文化施設等への推薦募集を行い、候補者を募り、審査の結果、受賞者を決定。市長室にて授賞式を開催し、報道周知を実施。平成21年度は音楽部門【チェンバロ】1名が受賞	文化振興課
21103	活動場所確保の支援	文化活動場所確保のための支援を行う。	○		○		○	市民文化活動に伴う公園等施設の使用希望に対し所管部署への協力を依頼した。	○	市民文化活動に伴うふれあいホールや公園等の利用が行えるよう副申を行った。	文化振興課
21104	活動拠点の提供	市が所管する文化・学習施設の貸館事業を、適正かつ安定的に行う。	○		○		○	①文化振興課:各文化施設において、文化団体等の利用希望に対し、一年前から抽選等により公平な利用方法を実施している。 ②生涯学習推進課:生涯学習施設について、例規等及び事務マニュアルに従い適正に実施。	○	・各文化施設において、文化団体等の利用希望に対し、一年前から抽選等により公平な利用方法を実施している(文化振興課) ・生涯学習施設について、例規等及び事務マニュアルに従い適正に実施している(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、旧生涯学習課)
21105	文化活動発表機会提供事業	市内で文化活動を行う個人や団体の発表会を開催する。	○		○		○	第6回静岡市民文化祭を開催した。	○	第7回静岡市民文化祭を開催した。	文化振興課(委託)
21106	文化活動補助事業	全国大会等に出場する個人・団体や市民が主催する文化活動への補助金を交付する。	○		○		○	静岡市民または静岡市を活動の拠点とする団体で、東海大会以上の出場者1名につき2,000円、全国大会出場者1名につき3,000円を予算の範囲内で交付した。平成20年度実績は、34団体、855人に交付。	○	静岡市民または静岡市を活動の拠点とする団体で、東海大会以上の出場者1名につき2,000円、全国大会出場者1名につき3,000円を予算の範囲内で交付した。平成21年度実績は19団体、727名に交付。	文化振興課
21107	文化団体の充実・育成事業	静岡市文化協会と蒲原町文化協会の融合を支援する等市内文化団体の活動を充実させ、団体を育成する。	○		○		○	平成18年、旧蒲原町文化協会は静岡市文化協会に加入し、静岡市文化協会を引き続き支援している。	○	融合をめざし、平成18年に旧蒲原町文化協会は静岡市文化協会に加入した。その活動を引き続き支援した。	文化振興課
21108	ボランティア活動支援事業	竹久夢二研究会等自主的に文化活動開催するボランティア活動を推進する。	○		○		○	竹久夢二研究会と協力し、年2回(4月・11月)、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催した。	○	竹久夢二研究会と協力し、年2回(4月・11月)、清水区蒲原の旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催した。	文化振興課
21109	文化事業開催支援事業	静岡市民芸術祭等市民による音楽、美術、舞台芸術、科学分野の事業の開催を支援する。	○		○		○	第4回静岡市民芸術祭を開催した。	○	第5回静岡市民芸術祭を開催した。	文化振興課
21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって創設としたい。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって創設としたい。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって、創設したいと考えている。	×	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって、創設したいと考えている。	文化振興課
21111	音楽文化振興企画の募集	静岡県を中心に音楽活動を続けている演奏家、演奏団体からコンサート企画を募集、それを選考委員会が審査をし、合格者の企画を開催する。	○		○		○	第10回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」で合格した。「大木麻里オルガン・リサイタル」「柴山晴美ソプラノ・リサイタル」の2企画を実施。また、21年度同事業に応募させた企画の審査を行った。	○	第11回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」で合格した。「横山靖代・小森輝彦ジョイント・リサイタル」「中村真紀子・ヴァイオリン・リサイタル」の2企画を実施した。また、22年度同事業に応募させた企画の審査を行った。	静岡音楽館
21112	国・県の文化補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業の活用と利用を呼びかけるため、情報コーナーを設ける等周知する制度を推進する。	○		○		○	平成18年度より、政令指定都市移行に伴う新規事業として、文化庁への「新進芸術家海外留学制度」の候補者推薦を実施。平成20年度は、1人推薦。	×	平成18年度より、政令指定都市移行に伴う新規事業として、文化庁への「新進芸術家海外留学制度」の候補者推薦を実施。平成21年度は申込者なし。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21113	駿府本山お茶まつり事業	本市の基幹産業であるお茶の振興を図るため、地元の生産者から、流通、小売業者までが一体となって、静岡本山茶の消費拡大を図り、お茶に関する文化、歴史的考察を含めた各種イベント等を実施する。	○		○		○	茶詰め、お茶づくし体験教室、消費拡大イベント、口切りの儀等計画どおりの事業を実施し、お茶の振興を図った。	○	春のお茶づくし体験教室(4月)、茶詰めの儀(5月)、秋のお茶づくし体験教室(9月)お茶壺道中行列・口切りの儀(10月)、お茶まつり(11月)等のイベントを実施し、本山茶の消費拡大、文化の伝承等を図った。	農業振興課
21114	清水お茶のまちづくり事業	地元の生産者、流通関係者及び消費者の一体的な取組みにより、新しいお茶の文化を創造しながら地産地消を軸とした清水ならではの「お茶のまちづくり」を進める活動を実施する。	○		○		「地元茶でもてなす会」を開催し、市民を対象に地元茶の紹介や呈茶、茶歌舞伎等を行った。また、地域ブランド茶「まちこそ最初に味わう集い」や茶摘み体験イベントを実施した。	○	まちこそ最初に味わう集い、清水茶産地巡り、地元茶でもてなす会など、会員・市民向けの活動の他、ブランディングのための「まちこそプロジェクト」、FOODEX JAPANへの出展など、清水のお茶のブランド化、お茶のまち清水のPRを行った。	農業振興課	
21115	茶手揉み保存事業	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を行う。	○		○		やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業や新茶初取引等各種イベントでの手揉実演を実施した。	○	手揉製茶会への参加や講習会の実施等により手揉製茶の保存と向上を図り、後継者を育成するとともに、茶会や学校・イベントでの手揉実演などの事業を行った。	農業振興課	
21116	市民活動センターの運営	市民活動団体に関する情報収集、情報誌の発行、相談業務、講座の開催等、市民活動を支援する施設の運営。	○		○		◎番町市民活動センターは整備中。 ◎清水市民活動センターは継続。	○	番町市民活動センターは平成21年10月に開館。清水市民活動センターは平成22年度からの指定管理者を募集選定。	市民生活課	
21117	協働パイロット事業	新しい協働事業の創出や協働推進のためのノウハウの取得を図る。	○		○		12事業の応募があり、4事業を採用・実施。	○	10事業の応募があり、4事業を採用。3事業を実施。	市民生活課	
21118	市民活動協働市場事業	市民活動団体と市の双方が相互に提案を行う「協働市場」を通じて協働事業を創出する。	○		○		2事業の応募があったが、採用なしの予定。	×	募集は行っていたが、応募がなかったため未実施。	市民生活課	
21119	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、市民の文化活動の支援をする。	○		○		選書基準により図書を購入・配架し、市民への情報の提供を行った。	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等として、市民の文化活動の支援を行った。	中央図書館	
21120	読み聞かせボランティア養成講座	地域で活躍できる、読み聞かせボランティアを養成する(全5回)。	○		○		南部図書館において5回実施した。	○	読み聞かせボランティア養成講座を実施した。	中央図書館	
21121	パソコンボランティア養成	視聴覚センターパソコン講座のボランティアの活動を支援する。	○		○		16名のボランティアに講座等の講師補助をお願いしている。	○	視聴覚センターで開催するパソコン講座において、講師補助として活動していた。	中央図書館(視聴覚センター)	
21122	視聴覚センター貸館業務	活動をするサークル・団体に視聴覚ホールや研修室の貸出をする。	○		○		1月末時点で191件の貸出しを行った。	○	文化活動を行うサークル・団体等に視聴覚ホールや研修室の貸出しをした。	中央図書館(視聴覚センター)	
21123	視聴覚機材・教材貸出業務	16ミリ映写機、フィルム等の視聴覚機材・教材の団体貸出をする。	○		○		1月末時点で10件の貸出しを行った。	○	16ミリ映写機、フィルム等の視聴覚機材・教材の団体貸出しを行った。	中央図書館(視聴覚センター)	
21124	主催イベント ロビーコンサート	主催イベント時にロビーコンサートに市民が出演できる機会を提供する。	○		○		竜爪中学校吹奏楽部による「西奈音楽館 サマールコンサート」など、全25講座を開催。	○	各生涯学習施設において、地域団体等と協働で行うことにより出演機会を提供している。	生涯学習推進課(旧生涯学習課)	
方策 2	人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)										
21201	芸術家・文化人の発掘と支援事業	オーディションを開催し、市内の芸術家や文化人を発掘し、その活動を支援する。	○		○		第13回「静岡の名手たち」オーディションを開催、合格者たち7組によるコンサートを実施した。合格者には、その後もHotひといきコンサート等、他事業への出演機会を与えている。	○	第14回「静岡の名手たち」オーディションを実施した。また、オーディション合格者7組によるコンサートを行った。	静岡音楽館	
21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内により事業推進を支援する。	×	市民ニーズの把握に努めていく必要があるため。	×	市民ニーズの把握に努めていく必要があるため。	各種助成金のお知らせをカウンターに設置するなどし、助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内をし、事業推進を支援した。	○	各種助成金のお知らせをカウンターに設置するなどし、助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内をし、事業推進を支援した。	文化振興課	
21203	地域の芸術家・文化人育成事業	市民による実行委員会形式の文化事業の自立促進を目指すため、市内の芸術家や文化人を育成する事業を実施する。	○		○		実行委員会と共催で「第13期リコーダーアンサンブル講座」を開催。自主事業「ピアノ伴奏法講座」では、聴講生も含めた育成事業を実施した。	○	聴講生も含め、「リコーダーアンサンブル講座」、「ピアノ伴奏法講座」等育成に努めた。	静岡音楽館	

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。 (生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	×	基礎データを収集している段階。	×	基礎データを収集している段階。 (文化振興課) 現在保有している人材情報が個人情報保護条例に則った情報収集に基づいたものではないため、そのままではデータの表示が困難なため。 (生涯学習課)	×	①文化振興課:基礎データを収集している段階。 ②生涯学習推進課:各生涯学習施設で活動している。文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	×	・基礎データを収集している段階(文化振興課) ・各生涯学習施設で活動している。文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館、 旧生涯学習課)
21205	芸術家など文化を担う人や団体の交流場所の提供	芸術家など文化を担う人が交流する機会や場所を提供する。	○		○		○	ストリートフェスティバル等イベントの開催及び市民大音楽祭等の開催に対する支援を実施した。	○	「ストリートフェスティバル」「市民大音楽祭」等の開催を支援した。	文化振興課
21206	ボランティア活動推進事業	科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを養成する等、文化事業開催にあたり、ボランティアを養成する。	○		○		○	科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを募集し継続した養成活動を実施した。	○	静岡科学館の展示物説明やイベント事業支援のためのサイエンス・ナビゲーターを募集し、養成した。	静岡科学館
21207	文化施設協力量スタッフ養成・活用事業	市内で開催される文化事業へのボランティア参加募集やその参加者を養成する事業を実施する。	○		○		○	静岡科学館での「サイエンスナビゲーター」の募集、養成 静岡音楽館での「静岡音楽館AOIボランティア」の募集 あれあ音楽事業「歓喜の歌大演奏会」のボランティアの募集	○	・「サイエンスナビゲーター」を募集し、養成した(静岡科学館) ・「静岡音楽館AOIボランティア」を募集し、養成した(静岡音楽館) ・「歓喜の歌大演奏会」:ボランティアを募集し活動した(ふれあい音楽事業)	静岡科学館 静岡音楽館 文化振興課
21208	来・て・こ絵本の部屋	主催講座で学んだ絵本の読み聞かせボランティアが毎月読み聞かせ会を行う。	○		○		○	毎月第4日曜日に10:30～11:40までおはなし会を開催している。	○	毎月1回午前中、おはなし会を開催している。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	○	文化振興財団において、職員を随時研修し、指導者の育成に努めた。	文化振興課
21210	学芸員実習の受け入れ	大学等で学芸員資格取得を目指す学生に対し、現場での実習の機会を提供する。	×	学芸員実習の受け入れ要望が無かったため。	○		○	静岡科学館では全国の大学からの要望に答え、積極的に受け入れて現場実習を行った。	○	静岡科学館において、全国の大学からの要望に答え、積極的に受け入れて現場実習を行った。	静岡科学館
21211	まちづくりへの意識改革	文化事業等によるまちづくりを意識するシンポジウムを開催する。	○		○		○	文化事業等への参加を通してまちづくりを意識してもらった。	○	文化事業への参加、清水文化センターの建替えをとおしてまちづくりを意識してもらった。	文化振興課
21212	指定管理者制度の導入	指定管理者による文化施設専門事業の展開を図る。	○		○		○	本市所管の文化施設については、市民ギャラリーを除き指定管理者制度を導入済み。	○	文化振興課所管の文化施設について、市民ギャラリーを除き指定管理者制度を引き続き導入した。	文化振興課
21213	講座の開催(再掲)	静岡音楽館、静岡アートギャラリーや市民団体等と共催により講座を開催する。	○		○		○	「アイセルアートサロン 美術館を楽しもう(全4回)」など、全20事業を実施。	○	NPO、市民団体、他機関との共催事業を実施している。276講座	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21214	茶手揉み保存事業(再掲)	茶の製造技術の原点である手揉製茶の保存と向上を図るため、後継者育成や各種イベントでの手揉実演などの事業を実施する。	○		○		○	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業や新茶初取等各種イベントでの手揉実演を実施した。	○	手揉製茶会への参加や講習会の実施等により手揉製茶の保存と向上を図り後継者を育成するとともに、茶会や学校・イベントでの手揉実演などの事業を行った。	農業振興課
21215	人材養成塾	主体的にまちづくりに関わっていける人材を養成する。	○		○		○	社会的な問題を解決しながら生計を立てる「社会企業家」を育成する地域シゴトの学校を実施。全26回、31人受講し、27人修了した。	○	社会起業家の視点とスキルを持ち、「まちや社会を変えよう」という情熱をもって自ら行動する人」を育成する地域シゴト学校を実施。28人受講し、26人修了した。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
方策 3	生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)										
21301	市民が参加できる文化事業の推進	おやこ書道展や公募写真コンテストを開催し、一般市民が気軽に参加できる公募展や舞台公演開催事業を推進する。	○		○		○	①文化振興課:「親子書道展」の開催に對して補助金を交付した。静岡科学館で「自然ふれあい写真展」を開催し、500点を超える応募があり3,000人もの来場者があった。 ②生涯学習推進課:生涯学習施設のロビー展等展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表を行った(生涯学習推進課)	○	・「親子書道展」の開催を支援した(文化振興課) ・「自然ふれあい写真展」を開催した(静岡科学館) ・生涯学習施設のロビー、展示スペースでの作品展や、生涯学習施設まつり等での学習活動の発表を行った(生涯学習推進課)	文化振興課 静岡科学館 生涯学習推進課 (旧生涯学習課)

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21302	市民と一体となった文化事業の促進	運営から出演者まで、市民との協働で行われる文化事業を促進する。	○		○		○	「羽衣まつり」やふれあい音楽事業で「音楽の祭典」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を開催した。	○	「羽衣まつり」や、ふれあい音楽事業で「音楽の祭典」「市民による歓喜の歌大演奏会」等を開催した。	文化振興課
21303	幅広い年齢層との文化事業の連携事業	主催事業において、老人や地域学生と連携した事業を開催する。	○		○		○	①文化振興課：静岡アートギャラリーにおいて、地域学生との連携を図り、展覧会関連事業「エキパディスプレイ」を実施した。 ②生涯学習推進課：大里生涯学習センターと大里中学校の連携による活動発表会「フィエスタ大里」など全15事業を開催。	○	・地域学生との連携を図り、展覧会関連事業「エキパディスプレイ」を実施した（静岡アートギャラリー） ・地域大学生との連携による体験学習講座など11事業を開催した（生涯学習推進課）	静岡アートギャラリー 生涯学習推進課 （旧生涯学習課）
21304	世代間交流事業の推進	大人のための鑑賞、科学教室を開催する等、多くの年齢層が一堂に集い、互いに刺激しあう文化事業を推進する。	○		○		○	静岡科学館において、「大人の科学教室」を行った。（対象15歳以上） 静岡アートギャラリーにおいて、展覧会関連事業「あなたとどこでみるツアー」により、世代を超えた交流を行った。	○	・「あなたとどこでみる展示会」を開催した（静岡アートギャラリー） ・「大人の科学教室」を実施した（静岡科学館）	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21305	教員の在住地域での活動の奨励と推進	教員が在住している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	○	教員〇Bが教え子とジョイントコンサートを実施し、母校の生徒が参加し、合唱した。	文化振興課
21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	×	事業の条件整備、個人情報の保護等、検討の必要性があるため。	文化振興課
21307	情報の収集・提供	必要な情報の提供により、生涯学習活動を支援する。	○		○		○	図書の閲覧・貸出により情報提供を行った。また、生涯学習交流館図書室への支援について所管課と協議を進めた。	○	図書館資料を収集・保存し、貸出・レファレンスサービス等をおして、市民の生涯学習活動の支援を行った。	中央図書館
21308	各種講座、映画会の開催	視聴覚機器の利用指導講座、パソコン講座、その他文化講座、映画会等を実施する。	○		○		○	45事業、286コース実施中	○	視聴覚機器の利用指導講座、パソコン講座、その他文化講座、映画会等を実施した。	中央図書館 （視聴覚センター）
21309	ワークショップなど展覧会の関連事業の	ワークショップなど展覧会の関連事業を実施する。	○		○		○	年間を通して、ミュージアム教室、ワークショップなど展覧会の多様な関連事業を積極的に実施した。	○	年間を通して、ミュージアム教室、ワークショップなど展覧会の多様な関連事業を積極的に実施した。	静岡アートギャラリー
方策 4	豊かな心をつちかう教育への支援（教育を通じて文化と触れ合う機会を創出する）										
21401	学校と連携した文化教育プログラムの実施	学校内の音楽会や合唱祭を共催する等、音楽・美術・舞台芸術・科学の分野で学校と連携した事業を展開する。	○		○		○	静岡音楽館：校内音楽会の共催 静岡アートギャラリー：学校と美術館とのネットワークの充実。ティーチャーズレクチャーとしてのミュージアム教室開催 静岡科学館：静岡大学等との連携事業を実施	○	・学校と校内音楽会を共催した（静岡音楽館） ・ティーチャーズレクチャーとしてのミュージアム教室を開催した（静岡アートギャラリー） ・静岡大学等との連携事業を実施した（静岡科学館）	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21402	次代の鑑賞者の育成を図る事業の展開	子どものための音楽ひろば等、ワークショップ、教室、講座の開催を通じて、芸術文化への子供たちの意識を高める事業を行う。	○		○		○	静岡音楽館での「子どものための音楽ひろば」の開催 静岡アートギャラリーでの「ミュージアム教室」の開催 静岡科学館での「サイエンスショー」の開催	○	・「子どものための音楽ひろば」を開催した（静岡音楽館） ・「ミュージアム教室」を開催した（静岡アートギャラリー） ・「サイエンスショー」を開催した（静岡科学館）	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
21403	子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創設	学校独自で実施する芸術鑑賞教室、講座を支援する。	○		○		○	科学館：学校に訪問し「移動科学館」を開催 音楽館：学校に訪問し、コンサートの開催	○	・学校に訪問し「移動科学館」を開催した（静岡科学館） ・学校に訪問し、コンサートを開催した（静岡音楽館）	文化振興課
21404	本物の舞台芸術体験事業	プロの舞台芸術家との連携による発声や演技の指導講座を開催する。	○		○		○	静岡市内6校の小中学校で実施した。我が国の文化のすばらしさを感じ取り舞台芸術への関心を高めることができた。	○	・南薬科小（音楽劇鑑賞） ・清水和田島小、久能小、足久保小（オーケストラ） ・梅ヶ島中（能楽） ・清水小河内小（ミュージカル）	学校教育課 （文化庁）

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
21405	芸術鑑賞機会の充実	出張コンサートやほっといきコンサートを開催し、いつでも、どこでも気軽に芸術文化の鑑賞ができる機会を提供する。	○		○		○	静岡音楽館による「どこでもAOI出張コンサート」の開催 静岡アートギャラリーによる「ギャラリートーク、ワークショップ」の開催 「Hotひといきコンサート」の開催	○	・「どこでもAOI出張コンサート」を開催した(静岡音楽館) ・「ギャラリートーク」、「ワークショップ」を開催した(静岡アートギャラリー) ・「Hotひといきコンサート」を開催した(文化振興課)	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 文化振興課
21406	文化・学習施設と学校との連携の支援	市内文化・学習施設と学校との連携を強化し、その推進を図る。	○		○		○	アートギャラリー・ミュージアム教室の実施。学校単位の鑑賞の際、学芸員による解説案内。 科学館：学校単位のサイエンスショーの開催	○	・学校単位の鑑賞の際に、学芸員による解説案内を実施した(静岡アートギャラリー) ・サイエンスショーを学校単位に開催した(静岡科学館)	静岡アートギャラリー 静岡科学館
21407	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合学習の時間を利用し、本当のお茶の味を覚え葉っぱで飲むお茶習慣を養わせることを目的に日本茶インストラクターによるお茶の入れ方教室を開催する。	○		○		○	計画どおりの内容で実施した。 実施校：48校、実施時限数：122時限、実施人数：3,752人	○	日本茶インストラクターを講師として平成21年9月～22年1月に実施し、49校の3932人がお茶の入れ方を学んだ。	農業振興課
21408	小学生「闘茶キング」選手権大会	次代を担う子どもたちに本市の特産であるお茶への関心を感化することを狙いに市内小学校や公民館を会場に実施する闘茶体験講座や闘茶大会を開催する。	○		○		○	小学生の闘茶大会を開催し、子供のころから茶文化にも触れ、本市の特産であるお茶への関心を高めた。	○	生涯学習施設等と共催で年10回計170人を対象に闘茶体験教室を開催するとともに、11月8日に小学生闘茶キング選手権を開催し93人が参加した。	農業振興課
21409	講座の開催(再掲)	学校と連携した講座を開催する。	○		○		○	学校を会場とした家庭教育学級を全8学級実施。	○	学校を会場とした家庭教育学級を7学級実施。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21410	公開講座の開催	公開講座を開催する。	○		○		○	女性学級や高齢者学級で実施している事業を一般にも公開する。「みのり大学公開講座 劇団あしたばによる演劇公演」ほか全18講座実施。	○	女性学級、高齢者学級で実施している事業を一部一般にも公開している。	生涯学習推進課 (旧中央公民館)
21411	地場産品体験学習事業	本市の地場産品を学ぶ小学4年生が、授業の一環として駿府匠宿で体験学習を行う際に補助を行う。	○		○		○	実施状況 54校 4,576人 (葵 22校 1,344人) (駿河 17校 1,858人) (清水 15校 1,374人) 補助金額 7,210,743円	○	・実施状況 52校 4,109人	地域産業課
21412	小学生スタジオ番組制作事業	小学生が企画した番組をスタジオを利用して制作する体験をする。	○		○		○	7月26、28、29、30日、8月1日の5日間で実施。6名参加。	○	小学生スタジオ番組制作体験講座を開催した。	中央図書館 (視聴覚センター)

文化振興ビジョン「第1期実施計画」 進捗状況調査票(221~224)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して											
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造										
方向	2 文化活動の環境整備										
方策	1 文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)										
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22101	目的別文化施設(施設の差別化)の検討	(仮)文化施設建設検討委員会等を設置し、文化施設の目的を整理し、役割を明確にし、今後の施設建設を検討する。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②静岡市市民文化会館運営委員会にて検討した。	○	静岡市市民文化会館運営委員会にて検討した。	文化振興課
22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	×	他市情報を収集している段階。	×	情報を収集している段階。	×	情報を収集している段階。	×	情報を収集している段階	文化振興課
22103	住民意見の反映による文化事業の展開	市民の意見を反映した文化施策が展開できる体制を整える。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ③静岡市市民文化会館運営委員会 ④各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	○	・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業利用者団体説明会の実施 ・静岡市市民文化会館運営委員会 ・各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	文化振興課
22104	多様な市民意識の把握システムの構築	定期的にアンケート調査を行う等、市民の文化施策への意見を把握する方法を検討する。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ③静岡市市民文化会館運営委員会 ④各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	○	・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ・静岡市市民文化会館運営委員会 ・各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	文化振興課
22105	街角の芸術空間の創出	各地域の街角において、芸術文化に関する事業展開を実施する。	○		○		○	①清水文化センター:音楽の祭典②清水三保:羽衣まつり③各区役所ロビー等:HOTひといきコンサート④葵区青葉シンボルロード:ストリートフェスティバル 等。	○	・清水文化センター:音楽の祭典 ・清水三保:羽衣まつり ・各区役所ロビー等:HOTひといきコンサート④葵区青葉シンボルロード:ストリートフェスティバル 等。	文化振興課
22106	集客圏の拡大を図るための戦略の検討	文化事業と観光を一体として捉え、集客を目的とした文化事業を検討する。	○		○		○	各文化施設運営の指定管理者事業と連携して検討。平成20年度は、劇団四季ミュージカル「美女と野獣」をロングラン公演。JR東海さわやかウォーキングのコース中に東海道広重美術館が組み込まれた。	○	・各文化施設運営の指定管理者事業と連携して検討。 ・JR東海さわやかウォーキングのコース中に東海道広重美術館が組み込まれた。 ・国民文化祭の開催	文化振興課
方策	2 文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)										
22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設を目指した施設整備を行う。	×	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	市民文化会館耐震工事にあわせて施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えていたが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	○	バリアフリー化に向けて、現状を調査した。	文化振興課
22202	文化施設耐震化事業	静岡市市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	×	耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	耐震工事自体が二次総に見送られたため。	×	市民文化会館の耐震工事が二次総に見送られたため。	○	所管の文化施設を一体的に、効率的効果的な修繕計画を立てるため、現状調査を行った。	文化振興課
22203	充実した施設と備品提供事業	利用者の立場に立った文化施設の備品や設備を充実させる。	○		○		○	各施設について、時代に則した備品の購入及び消耗、老朽化した施設の改修等を実施した。	○	一体的に管理し、効率的効果的に備品の購入及び改修等を実施した。	文化振興課
22204	文化施設周辺環境整備事業	文化施設の周辺や駐車場や駐輪場等付帯施設の環境を整備する。	○		○		○	静岡市市民文化会館及び清水文化センターの駐車場・駐輪場について整備を実施した。	○	文化会館及び清水文化センターの駐車場・駐輪場を整備した。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	×	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	文化振興課
22206	新規文化施設建設検討事業	(仮)静岡市立美術館等の新規文化施設整備の検討や建設を行う。	○		○		○	①(仮)静岡市立美術館整備事業 平成18年度に基本計画策定を実施。 平成19年度に運営実施計画策定を実施。 平成20年度は内装設計を実施。 平成21年度は保留床購入、建築工事着手。 ②清水駅東地区文化施設整備事業 平成18年度に基本構想策定・PFI導入可能性調査を実施。 平成19年度にPFIアドバイザー業務委託・設計・建設・開館を計画。 平成20年度は施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者と事業仮契約を締結。 平成21年度PFI事業契約の締結、モニタリング業務実施	○	①(仮)静岡市立美術館整備事業 平成18年度に基本計画策定を実施。 平成19年度に運営実施計画策定を実施。 平成20年度は内装設計を実施。 平成21年度は保留床購入、建築工事着手。 ②清水駅東地区文化施設整備事業 平成18年度に基本構想策定・PFI導入可能性調査を実施。 平成19年度にPFIアドバイザー業務委託・設計・建設・開館を計画。 平成20年度は施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者と事業仮契約を締結。 平成21年度PFI事業契約の締結、モニタリング業務実施	文化振興課
22207	文化施設の専門的な運営方法検討事業	指定管理者制度の導入や各施設の運営方法を検討する。	○		○		○	静岡市民文化会館、清水文化センター、静岡音楽館、静岡アートギャラリー、静岡科学館において、指定管理者制度を導入しており、年3回モニタリングという形で、運営状況の聞き取り調査、指導を行っている。 静岡市民文化会館及び清水文化センターにおいては、文化会館運営委員会(市民委員在籍)を設置し、運営方法について意見をいただいている。 静岡市民文化会館、清水文化センター、静岡音楽館については、指定管理期間の更新が近づいているため、運営形態の検討、準備を行っている。	○	文化会館・文化センター、静岡音楽館、静岡アートギャラリー、静岡科学館に指定管理者制度を引き続き導入した。新規に静岡市美術館、広重美術館も指定管理制度を導入の準備を進めた。また、本年度より静岡科学館に利用料金制を導入した。 各施設とも年3回モニタリングを行い、運営状況の聞き取り調査や指導を実施した。	文化振興課
22208	施設の共有化	文化施設利用申請の電算化等、施設間のシステムを共有化し、情報や利用手続きの簡便化を図る。	○		○		○	・市民文化会館について、施設利用申請管理システムを整備した。 ・清水文化センターについて、ホームページをリニューアルし情報量を増やした。	○	平成20年度に文化会館に、施設利用申請管理システムを導入済み。	文化振興課
22209	文化施設ネットワークの構築	当課所管文化施設の指定管理者内におけるネットワークの構築を指導している。	○		○		○	駅前3館連携事業を実施した。	○	文化振興財団と連携し、文化情報誌「しずおかイベントニュース」を毎月発行し、広く市民にイベントの情報を発信した。	文化振興課
22210	民間施設との連携	民間施設等と連携し、共催文化イベント開催を検討する。	×	現時点では各当課所管文化施設間の連携を図ることに努力しているため、現況では民間施設との連携には至っていない。	○		○	静岡アートギャラリーで開催されたヨーロッパ油彩画展に合わせ、隣接のホテルがテラスラウンジでバロックから19世紀の時代にまつわる菓子を提供した。	○	静岡アートギャラリーでの企画展に合わせたメニューを隣接のホテルが提供した。	文化振興課
方策 3	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)										
22301	質の高い事業開催の推進	指定管理者制度を導入し、より上質な、音楽・美術・舞台芸術・文学の分野の事業を開催する。	○		○		○	各館において、前年以上に上質な自主事業を実施している。	○	各館において、ノウハウを生かし、上質な自主事業を展開した。また、静岡音楽館においては、新作を委託・演奏し、しずおか文化を発信した。	静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館



事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22302	気軽に出会える事業の推進	ほっといといきコンサートの開催等、場所を選ばない文化事業を開催する。	○		○		○	昼休みに静岡庁舎1階ラウンジ等を会場に、クラシック、ジャズ等様々なジャンルの音楽を取り上げ、市民が生演奏の素晴らしいにふれる機会を提供。平成20年度は、静岡駅北口地下広場イベントスペースでも開催した。	○	昼休みに静岡庁舎1階ラウンジ等を会場に、クラシック、ジャズ等様々なジャンルの音楽を取り上げるとともに、静岡駅北口地下広場イベントスペースでも開催した。	文化振興課 静岡音楽館
22303	親子で楽しめる事業の推進	親子のためのコンサートの開催等、年齢を問わない文化事業を開催する。	○		○		○	自主事業に年齢による入場制限を設けない他、「子どものためのコンサート」「子どものための音楽ひろば」など、子どもを対象とした事業を実施。平成20年度は平日の昼間に「ランチタイムコンサート」を開催するなど、様々な年齢層を対象とした事業を開催している。	○	「子どものためのコンサート」「子どものための音楽ひろば」など、親子を対象とした事業を実施した。気軽に参加できる「ランチタイムコンサート」を開催し、鑑賞年層の拡大に努めた。	静岡音楽館
22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質で長期公演が行える事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図り、市のステータス向上を図る。	×	ロングラン専用劇場を所有していないこと、ロングラン公演に最も適している静岡市民文化会館は一般利用率が多い為、長期間貸し出すことよって一般利用者に弊害がでるため、記念となる事業のみ実施する	×	ロングラン専用劇場を所有していないこと、ロングラン公演に最も適している静岡市民文化会館は一般利用率が多い為、長期間貸し出すことよって一般利用者に弊害がでるため、記念となる事業のみ実施する	○	静岡市民文化会館30周年記念事業として劇団四季ミュージカル「美女と野獣」のロングラン公演を実施した。	○	平成22年度に政令指定都市移行5周年記念事業として劇団四季ロングラン公演「マンマ・ミーア」を実施するよう連絡調整を行った。	文化振興課
22305	文化事業要望調査実施事業	未来の文化事業の対策に反映させるため、アンケート調査やリサーチを継続実施する。	○		○		○	①静岡市新美術館準備検討委員会 ②清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ③静岡市民文化会館運営委員会 ④各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	○	・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業実施方針を公表、利用者団体説明会の実施 ・静岡市民文化会館運営委員会 ・各文化施設での事業に対するアンケート調査及びフィードバック(指定管理者)	文化振興課
22306	特色ある自主事業の実施	文化施設による芸術文化事業の開催を推進する。	○		○		○	①文化振興課:各館において、多彩で特色ある自主事業を実施している。 ②芹沢美術館:年間3回の企画展の開催と、各種講演会、生涯学習センターと共催での講座の開催、「美術館でお茶を」等のイベントを実施した	○	・各館の指定管理者が、多彩な芸術文化事業を実施している。(文化振興課) ・年3回の企画展を実施した。(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
22307	鑑賞機会の拡大を図る	小・中学生を対象とした文化事業を企画し、鑑賞機会の拡大を図る。	○		○		○	文化振興課:伝統文化寺子屋の開催 アートギャラリー:各企画展示毎にミュージアム教室開催 音楽館:どこでもAOI出張コンサート、子どものための音楽ひろば開催。 科学館:るくる教室、科学館学習等開催 文化センター:子供向けミュージカルへの児童招待	○	・伝統文化寺子屋を開催した(文化振興課) ・各企画展示毎にミュージアム教室開催した(静岡アートギャラリー) ・どこでもAOI出張コンサート、子どものための音楽ひろばを開催した(静岡音楽館) ・「るくる教室」等学習会を開催した。(静岡科学館) ・子供向けミュージカルへ児童を招待した(文化センター)	文化振興課
22308	新しい文化事業の研究と開催	他都市施設及び各種文化団体の実績や文化系シンクタンクの調査結果を参考にすると、新たな文化事業を研究し、実施する。	○		○		○	アートギャラリー:「木のぬくもり展」では、優れた「木」造形技術を持つ本市の特色を生かし、様々な木造形作品を展示し、木の可能性を示すと共に、心豊かな暮らしの提案を行った。また、展覧会をより広い視野で鑑賞できるよう、市内に残る原生林をガイドの案内により探検するワークショップを実施した。	○	静岡市美術館運営実施計画を策定し、新しいしずおか文化の発信を目指した企画の具体的な準備に取り掛かった。	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
22309	しずおかコンテンツバレー構想	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。			○		○	・静岡市クリエイター支援センターにおけるセミナー・展示の実施 ・コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、コンテンツバレーフェスティバル(情報発信事業)に対する助成、支援。	○	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する助成、支援。	産業政策課
方策 4	協働による施設の整備と運営(市民との協働を通じた文化施設の整備と運営方法を検討する)										
22401	文化施設整備における市民・民間との協働	文化施設整備手法に市民や民間との協働を取り入れる。	○		○		○	①指定管理者との協働運営 ②文化情報の提供と広報 ③清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者と事業仮契約を締結。	○	・指定管理者との協働運営 ・文化情報の提供と広報 ・清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業を実施する民間事業者とPFI事業契約を締結。	文化振興課
22402	市民文化活動の拠点となる施設運営方法の検討	ボランティアを含む文化活動拠点の運営に市民参加を促進する。	○		○		○	・静岡科学館、静岡音楽館、静岡アートギャラリー関連事業への参加推進	○	・静岡科学館、静岡音楽館、静岡アートギャラリー関連事業への参加推進	文化振興課 静岡科学館
22403	市民による文化活動の環境整備	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。	○		○		○	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力。 事業番号=21101 文化活動支援事業後援名義使用承認等(包含)	○	情報提供による文化活動への支援と広報の協力を行う。文化振興課、各文化施設、学校へのチラシ、ポスターの配布協力。 事業番号=21101 文化活動支援事業後援名義使用承認等(包含)	文化振興課
22404	市民主体の文化活動施設の提供	眠っている公共施設のフリースペースを生かした文化事業の開催等、新たな文化活動拠点を発掘する市民に対し支援を行う。	○		○		○	市民の問い合わせに対し、文化活動可能な公共施設の紹介や案内を行った。	○	市民の問い合わせに対し、文化活動可能な公共施設の紹介や案内を行った。	文化振興課
22405	ボランティア、サポーターの育成	(仮)文化事業ボランティア登録センターを設置する等、市の文化活動への協力者を育成する。	○		○		○	事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含) 各文化施設において、自主事業開催に伴い、ボランティア・サポーター募集及び育成を実施。	○	事業番号=21206 ボランティア活動推進事業(包含) 各文化施設において、自主事業開催に伴い、ボランティア・サポーター募集及び育成を実施。	文化振興課
22406	絵本読み聞かせボランティア養成講座	来・て・こで読み聞かせ活動を行うボランティアを養成する。	×		○		○	「子育てやボランティアに生かす～読み語り講座～(全5回)」など全8講座実施。	○	「薫科おはなしボランティア募集(全2回)」など、全5事業を実施した。	生涯学習推進課 (旧生涯学習課)
22407	市民文化活動参加に対する受け皿づくり	文化団体の市民への周知と団体設立の支援を行う。	○		○		○	市民からの問合せに対し静岡市文化協会や(財)静岡市文化振興財団を紹介。市文化振興課カウンター等に、文化協会が作成した「文化の風」や各種事業のチラシ等を設置し周知をはかった。	○	市民からの問合せに対し静岡市文化協会や(財)静岡市文化振興財団を紹介。市文化振興課カウンター等に、文化協会が作成した「文化の風」や各種事業のチラシ等を設置し周知をはかった。	文化振興課
22408	市民の文化活動の拠点作り	市民の文化活動のよりどころとなる拠点の整備をする。	○		○		○	①(仮称)静岡市立美術館整備事業 ②清水駅東地区文化施設整備事業 ③市民への施設利用募集広報を実施	○	・(仮称)静岡市立美術館整備事業 ・清水駅東地区文化施設整備事業 ・市民への施設利用募集広報を実施	文化振興課
22409	互いに高めあう学びのシステムの模索	市民と企業と行政が互いに街づくりに参加するシステムの方法を模索する。	○		○		○	①メセナ活動企業との連携 ②パブリックコメントの実施	○	・メセナ活動企業との連携 ・パブリックコメントの実施	文化振興課

文化振興ビジョン「第1期実施計画」 進捗状況調査票(231~233)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して												
目標	2 地域性豊かな市民文化の創造											
方向	3 地域資源を活かした文化事業の充実											
方策	1 地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)											
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課	
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由		
23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。(公民館利用団体のサークルリスト作成)	×	音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点から、実施に至っていない。	×	音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点から、実施に至っていない。(文化振興課)	×	①文化振興課:音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点から、実施に至っていない。 ②生涯学習推進課:各生涯学習施設で活動している、文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	○	・文化振興財団、文化協会の人材マップを公民館における文化講座・活動に活用した(文化振興課)。 ・各生涯学習施設で活動している市民団体のリストを作成し、窓口にて紹介する(生涯学習推進課)	文化振興課 生涯学習推進課 (旧中央公民館)	
23102	多彩な地域文化活動の基盤整備	地域資源の基である、人を育てる事業を展開する。	○		○		○	事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含) 平野富山や竹久夢二作品等、市が収集する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進	○	事業番号=23103 地域資源再認識事業(包含) 平野富山や竹久夢二作品等、市が収集する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進	文化振興課	
23103	地域資源再認識事業	平野富山や竹久夢二作品等、市が収集する美術品等を公開する等資源を再認識する事業を推進する。	○		○		○	4月・11月に旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催。1月末から2月初めに清水文化センターにて平野富山寄贈作品展を開催した。	○	・4月・11月に旧五十嵐邸にて竹久夢二展を開催。 ・1月末に清水文化センターにて平野富山寄贈作品展を開催した。	文化振興課	
23104	地域資源整備事業	美術品台帳を整備する等、市が収集する美術品等を管理、修繕、整備し、資源を保存する事業を推進する。	○		○		○	D51型蒸気機関車清掃管理;D51保存会に委託 清水文化センター-収蔵庫害虫駆除(平野富山作品);委託 竹久夢二作品収蔵	○	・D51型蒸気機関車清掃管理をD51保存会に、平野富山作品を清水文化センターに管理を委託した。 ・竹久夢二作品の他、静岡市収蔵品を静岡アートギャラリーに管理委託した。	文化振興課	
23105	清水港お茶直輸出100周年記念事業	清水港からお茶を直接輸出して、平成18年5月13日で100年になるため、この機会に先人達の功績を顧みるとともに、本市茶業のさらなる発展をめざし記念イベントを実施する。	○		×		○	当事業は、平成18年5月13日に清水港お茶直輸出100周年を迎える記念事業として実施された。平成18年度の単年度事業であるため、平成19年以降の実施はない。	○	平成18年度に実施済み。	平成18年度事業(実施済)	農業振興課
23206	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業	日本茶を代表する優良品種「やぶきた」が静岡市において選抜され、平成20年で100年を迎えるため、この偉業を顧みるとともに、伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民と共有し、その魅力を紹介する記念イベントを実施する。	○		○		○	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業において献上茶を謹製したほか、お茶の魅力を紹介する記念イベントを実施した。	○	平成19・20年度事業(実施済)	農業振興課	
方策	2 地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)											
23201	地域資源活用事業	地域資源を活かした舞台芸術・文学事業を開催する。	○		○		○	「羽衣まつり」の一環で、羽衣新能や羽衣の松や三保の松原を句の題材として募集する「俳句コンペティション」の実施について支援する。	○	「羽衣まつり」の一環として、まつりの内容や三保を句の題材としての「俳句コンペティション」を実施した。	運営委員会 (文化振興課)	
23202	地域資源紹介事業	地域資源(施設・自然・催事)を紹介する事業を行う。	○		○		○		○	随時パンフレット、広報誌等で紹介した。	文化振興課	

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23203	講座・ワークショップ開催事業	地元を知る講座の開講による意識高揚を図る。	○		○		○	①文化振興課：静岡科学館では、創作教室、ロボット教室、アート教室、科学教室、大人の科学教室等の開催のほか、郷土の科学者講演会等を実施した。 ②生涯学習推進課：地域で活動している団体との協働事業や、地域の散策をし歴史などを学ぶ事業を実施。	○	・創作教室、ロボット教室、アート教室、科学教室、大人の科学教室等の開催のほか、郷土の科学者講演会等を実施した(静岡科学館)	静岡科学館 生涯学習推進課 (旧中央公民館)
23204	地元出身文化人や有識者の活用の検討	地域で活動する文化人を取り上げ、周知させ、その活用を図る。	○		○		○	平野富山寄贈作品展の開催 前田守一作品を「羽衣まつり」ポスター、チラシに活用	○	平野富山寄贈作品展を開催した。また、前田守一作品を「羽衣まつり」ポスター、チラシに活用した。	文化振興課
23205	特色ある地域づくりへの側面的支援	地域の文化活動を行う団体や個人を支援方法を検討する。	○		○		○	事業番号＝21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号＝22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	○	事業番号＝21101 文化活動支援事業(包含) 事業番号＝22403 市民による文化活動の環境整備(包含)	文化振興課
23207	伝統工芸品首都圏PR事業	静岡市伝統工芸品展～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催					×	平成21年度から実施予定	○	<会期>平成21年6月25日～7月7日 <場所>全国伝統的工芸品センター ・出展者数 秀士33名、若手17名 ・来場者数 7,246人	地域産業課

方策 3 地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)

23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	×	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	×	事業実施に向けての、具体的な検討がなされていないため。	○	各文化施設において農業振興課とお茶会の実施を検討した。また、静岡美術館へ漆組合、蒔絵組合連携による作品の制作を依頼した。	文化振興課
23302	駿府匠宿管理運営	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	○		○		○	【見込】 ギャラリー企画展 23回 来場者数 320,000人	○	・来場者数 293,180人	地域産業課
23303	駿府楽市地場産品展示コーナー運営	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市地場産品を展示紹介する。	○		○		○	【見込】 特別企画展 29回 来店者数 842,000人	○	・企画展 28回 ・来場者数 632,580人	地域産業課
23304	クラフトマンサポート事業	地場産業界の人材育成・後継者育成のため、技術習得希望者の現場実習に係る経費を指導事業所等に支援する。	○		○		○	短期現場実習支援対象者 3名 長期現場実習支援対象者 4名 独立支援補助金交付対象者 2名	○	・短期現場実習支援者 3名 ・長期現場実習支援者 3名 ・独立支援支援対象者 0名	地域産業課
23305	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市伝統工芸産業に長年従事する技術者の内から、特に優秀な技術を有し、技術の伝承と発展に顕著な功績を有する者を、「静岡市伝統工芸技術秀士」として顕彰すると共にその作品を展示し、伝統工芸をPRする。	○		○		○	伝統工芸技術秀士 1名指定 松島 富蔵(指物職人)	○	・顕彰事業 該当者なし ・PR事業 静岡市伝統工芸品展開催	地域産業課
23306	伝統工芸技術保存講習会	本市伝統工芸業界の後継者育成と技術の保存継承を図るため、関係業界に従事している若手技術者に静岡市伝統工芸技術秀士等を講師として技術講習を行う。	○		○		○	講習会5部門実施 延べ日数 漆器 20日、竹工 11日、指物 13日 蒔絵 20日、拭漆 7日	○	・実施状況 5部門 計38名 (漆器7名、拭漆7名、竹工5名、木工10名、蒔絵9名)	地域産業課 財静岡産業振興協会
23307	街を紹介する冊子の作成	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を行う。	○		○		○	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を行っている。	○	財団が作成する冊子「まちかど」発行の支援や市内タウン誌への情報提供を実施した。	文化振興課
23308	商業空間やイベントと融合した文化事業の充実	商店街と音楽、飲食街と展示、など文化と商業の融合が図れる事業を行う。	○		○		○	(財)静岡市文化振興財団が平成19年度からの取り組んでいる「駅前文化ゾーン形成活動」の支援。事業内容は、音楽館、科学館、アートギャラリー利用者、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図る。	○	静岡音楽館、静岡科学館、静岡アートギャラリー利用者、レストラン等の駅周辺の協力店にて割引を可能とし、相互の活性化を図った。	静岡音楽館 静岡科学館 静岡アートギャラリー
23309	地元企業とのイベント共催システムの確立	地域企業と連携した文化事業の募集やメセナ事業を展開する。	○		○		○	科学館：静岡新聞社と共催による「科学特捜隊」を実施。 文化会館：劇団四季「美女と野獣」ロングラン、NHK交響楽団誘致等実施。	○	・市民文化祭において、静岡フィルハーモニーをふれあい音楽祭において、清水フィルハーモニー、清水ウインドオーケストラの演奏を実施した(文化振興課) ・静岡新聞社と共催し、「科学特捜隊」を実施した(静岡科学館)	文化振興課 静岡科学館

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
23310	「ホビーのまち静岡」推進事業	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外に向けシティプロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	○		○		○	●「ホビーのまち静岡inサマー」開催 日時：平成20年8月2日～3日 場所：ツインメッセ静岡、清水マリナーパーク プラモデル工作教室・体験コーナーの設置、模型の歴史展示やスタンブラリーの実施。 ●首都圏をはじめ内外に向けPR事業を展開。	○	<開催助成> ・静岡ホビーウィーク2009（5月10～17日） ※来場者数 124,000人以上 ・第48回静岡ホビーショー（5月14～17日） ※来場者数 約81,000人 ・クリスマスフェスタ09（12月12日～13日） ※来場者数 約35,000人 <出展助成> ・2009プラモデル・ラジコンショー（10月8～11日） ※来場者数 約38,000人	地域産業課

文化振興ビジョン「第1期実施計画」進捗状況調査票(311~321)

個性あるしずおか文化の創造と継承因が文化を創り、文化が人を育てる都市(まち)を目指して											
目標	3 しずおか文化の発信と交流										
方向	1 全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備										
方策	1 文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)										
事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
31101	文化施設のデータベース化	市内文化施設を連携した施設紹介のデータベース化を図り公開する。	○		○		○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを作成した。	○	静岡市HP内の文化振興課ページに、市内文化施設HPへのリンクを引き続き行った。	文化振興課
31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	○	相互に情報を交換し合い、文化のネットワークづくりを継続実施した。	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館
31103	文化情報の充実	文化施設において各種公演チケットを販売する等、人・施設・催事の情報収集を充実させる。	○		○		○	①文化振興課:アートギャラリーと科学館、文化会館と文化センター等の間で、他施設の公演チケットを相互に販売している。 ②芹沢美術館:美術館のミュージアムショップにおいて、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRにつとめている。	○	・アートギャラリーと科学館、文化会館と文化センター等の間で、他施設の公演チケットを相互に販売している(文化振興課) ・館:美術館のミュージアムショップにおいて、各施設のリーフレットを提供したり、ポスターを貼ってPRにつとめている(文化振興課) ・他美術館のポスター掲示、リーフレット配布(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
31104	駿府楽市市場産品展示コーナー運営(再掲)	JR静岡駅構内アスティー静岡にある「駿府楽市」の展示コーナーで、本市市場産品を展示紹介する。	○		○		○		○	・企画展 28回 ・来場者数 632,580人	地域産業課
31105	ようこそ静岡推進事業	・携帯電話をツールとしたコミュニケーションシステムの構築、運用を行う ・携帯メールを活用した情報提供およびアンケートによる観光客のニーズ把握 ・登録者とのコミュニケーションによるリピーターの獲得	○		○		○	イベントがある毎に、観光客の増加につなげるため、携帯システムで情報提供を行った。	×	平成17年度より事業を開始したが、平成20年度末の登録者数が4,267人、内市外、県外登録者が約4割と登録者数が伸び悩み、費用対効果が低いと判断し、H21年7月事業廃止手続きを行った。今後、新たな情報発信の手法を検討する。	観光課
方策	2 文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)										
31201	文化情報の集約	分散している文化情報を整備し、文化関係施設のネットワーク化を図り集中管理を図る。	○		○		○	①文化振興課:各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行している。 ②芹沢美術館:他の美術館等の施設と、連絡を取り合い、必要な情報の共有をしている。	○	・各館の催事情報を集約した「イベントニュース」を発行した(文化振興課) ・他の美術館等の施設と、連絡を取り合い、必要な情報の共有をしている。	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
31202	地元マスコミとの連携・調整システムの確立	地元マスコミに文化情報コーナーの設置を求め、情報を発信していく。	○		○		○	①文化振興課：FM-Hiの「昼ラジ！静岡情報館」という番組（月～金 11:00～14:00）の、毎週火曜日の13:10～13:20に文化情報を伝えるコーナーを設け、毎週館ごと職員が出演し、イベント情報等を発信している。 ②芹沢美術館：企画展開催のお知らせや、講座の開催などについて、新聞社やテレビ局に資料の提供をし、取材等の対応をしている。	○	ケーブルテレビ「ドリームTV」で「シリーズ銚介」として2008年から番組放映している。（芹沢美術館）	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館
31203	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供する。	○		○		○	生涯学習施設で行う事業を、リビング静岡やポケタンなどに情報提供を行った。	○	タウン紙、FM情報、インターネットサイトなどへ、講座情報を配信している。	生涯学習推進課 （旧生涯学習課）
31204	国内外への情報伝達拠点整備	文化情報発信拠点を整備し、事業開催告知が平等に行えるよう検討する。	○		○		○	事業番号=31207 文化情報網の整備と充実(包含) 静岡市ホームページでイベントカレンダーを掲載(広報課)	○	事業番号=31207 文化情報網の整備と充実(包含) 静岡市ホームページでイベントカレンダーを掲載(広報課)	文化振興課
31205	駿府匠宿管理運営(再掲)	工芸に親しみ歴史に触れることにより、地場産業と地域の歴史への理解を深めるとともに地域経済の活性化を図るための施設「駿府匠宿」を管理運営する。	○		○		○		○	・来場者数 293,180人	地域産業課
31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	×	条件整備を検討中。	文化振興課
31207	文化情報網の整備と充実	情報伝達システムやソフトを随時更新し、ホームページの充実を図る。	○		○		○	平成20年度にシステムをALAYAに更新。新しく所管になった東海広重美術館のページ新設を始め、随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行っている。	○	随時課ホームページの更新及びイベントカレンダーへの登録を行った。	文化振興課
31208	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	○		○			施設の設置には、物的及び人的に多大なコストを要するため、他の手法による同様な機能の実現可能性について検討したい。	○	・新たなしずおか文化の創造・発信の拠点として静岡美術館を建設整備した(文化振興課) ・新作を委託、演奏を実施し、しずおか文化を発信した(静岡音楽館)	文化振興課 静岡音楽館
31209	文化団体等の交流を通じた情報交換の促進	文化団体との連携を強化し、団体の事業活用と一緒に検討する。	○		○		○	引続き静岡市文化振興財団・静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図っている。	○	静岡市文化振興財団・静岡市文化協会との協力体制と連携の強化を図っている。	文化振興課
31210	自ら学ぶ市民の支援と情報の提供	個別に活動する文化団体への情報提供を強化する。	○		○		○	静岡市文化振興課、各文化施設、各生涯学習施設へのチラシ等の設置。問合せへの対応。	○	静岡市文化振興課、各文化施設、各生涯学習施設へのチラシ等の設置。問合せへの対応。	文化振興課
31211	文化的バリアフリーの推進	障害者、高齢者、子ども等様々な年齢層が楽しめる文化事業を推進する。	○		○		○	晴眼者と視覚障害者などで言葉によるコミュニケーションを通して共に作品を鑑賞する「あなたとここでみるツアー」や様々な年齢層を対象にしたミュージアム教室等多岐に渡る関連事業を実施した。	○	指定管理者が、自主事業として事業を実施した。	文化振興課
31212	主催講座の情報提供	主催講座の案内をミニコミ誌へ情報提供、ホームページでも公開する。	○		○		○	21308と同じ	○	主催講座について、ミニコミ誌、ホームページ等を使って情報提供を行った。	中央図書館 (視聴覚センター)
31213	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	○		○		○	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	×	対象事業無し	文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	平成18年度実施の有無		平成19年度実施の有無		平成20年度実施の有無		平成21年度実施の有無		担当課
			実施	未実施理由	実施	未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	実施	実施内容または未実施理由	
31214	「ホビーのまち静岡」推進事業(再掲)	本市では「ホビー」を戦略資源の一つとして位置付けており、平成19年度から「ホビーのまち静岡」として国内外向けにシティブロモーションを展開している。 静岡市の地場産業の一つであるプラスチックモデルを中心とした、ホビーウィーク及びクリスマスイベントなどの事業を展開する。	○		○		○	●「ホビーのまち静岡inサマー」開催日時：平成20年8月2日～3日 場所：ツインマッセ静岡・清水マリナーパーク プラモデル工作教室・体験コーナーの設置、模型の歴史展示やスタンプラリーの実施。 ●首都圏をはじめ内外に向けPR事業を展開。	○	<開催助成> ・静岡ホビーウィーク2009（5月10～17日） ※来場者数 124,000人以上 ・第48回静岡ホビーショー（5月14～17日） ※来場者数 約81,000人 ・クリスマスフェスタ09（12月12日～13日） ※来場者数 約35,000人 <出展助成> ・2009プラモデル・ラジコンショー(10月8～11日) ※来場者数 約38,000人	地域産業課
方向	2	文化交流事業の推進									
方策	1	全国や世界との文化交流事業の推進(世界との文化交流を通して、「しずおか文化」を再認識する)									
32101	全国各地と文化イベントを共催するシステムの創設と推進	全国縦断公演を企画、共催できるシステムを創設する。	○		○		○	静岡アートギャラリー・静岡科学館のソフト事業として全国巡回企画展等の開催。	○	静岡アートギャラリー・静岡科学館のソフト事業として全国巡回企画展等の開催。	文化振興課
32102	国内都市との文化交流の活性化	文化交流事業を推進する。 (作品・コレクションの貸し借り)	○		○		○	①文化振興課：「竹久夢二」作品の貸し出し 平成20年に「静岡市東海道広重美術館」は、恵那市の「中山道広重美術館」と姉妹館提携を結び、今後、作品の貸借も含め、交流を図っていく。 ②芹沢美術館：芹沢作品と芹沢コレクションについて、国内7か所の美術館に対して、97点(のべ124点)を貸出した。	○	・「竹久夢二」作品をはじめ、静岡市所蔵の作品を貸し出した(文化振興課) ・ジャパンソサエティ(ニューヨーク)、岡山県立美術館など5館に対し294点の貸出し(芹沢美術館) ・東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、柏市教育委員会など3か所から111件の作品を借用(芹沢美術館)	文化振興課 文化会館 文化センター 静岡音楽館 静岡アートギャラリー 静岡科学館 芹沢美術館 東海道広重美術館
32103	全国規模の文化催事の立案・開催の推進	日本・世界を対象とした大規模な文化事業を企画し、実施する。	○		○		○	静岡科学館において、指定管理者である静岡市文化振興財団が「青少年のための科学の祭典」を開催した。	○	静岡市美術館の開館にあわせ、全国規模の企画展を立案し、平成22年度に実施予定。	文化振興課
32104	海外との文化交流推進	ロシア写真展を開催する等、文化を通じて、海外都市との交流を活性化させる。	○		○		○	11月に全米最優秀教師が来日、静岡市内の中学校や静岡科学館を訪問した。 また、科学館職員が「オーストラリア・日本サイエンスパフォーマンス交流プログラム」の日本代表の1員に選ばれた。	○	全国・世界各地の子ども達の参加の絵画コンクールから本県児童らの作品を中心に入選作690点を展示した。	文化振興課
32105	外来アーティストの積極的な招へいと交流の場の提供	音楽を通じ、世界的に活躍するアーティストを招聘し、公演を行う他関連事業を開催する。	○		○		○	静岡音楽館自主事業「コンサートシリーズ」へのアーティスト招聘 「Hotひといきコンサート」へのアーティスト招聘	○	・「Hotひといきコンサート」へのアーティスト招聘した(文化振興課) ・自主事業「コンサートシリーズ」へのアーティストを招聘した(静岡音楽館)	文化振興課 静岡音楽館



文化振興ビジョン [第1期実施計画]

～平成18年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化する)	23310	「ホビーのまち静岡」推進事業(H18新規)	シティセールスの一環として平成19年度から当課が行う「ホビーのまち静岡」推進事業のプレイベントとして、平成19年3月3・4日に「全国AFV模型展示会」をツインメッセ静岡で開催。 戦車・ジープなどの装甲戦闘車両模型を中心に、全国のモデラーが創意工夫を凝らしたプラスチックモデル作品の展示。	地域産業課
しずおか文化の発信と交流	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)	31214			

～平成19年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)	23206	やぶきた誕生100周年記念献上茶謹製事業(H19新規)	日本茶を代表する優良品種「やぶきた」が静岡市において選抜され、平成20年で100年を迎えるため、この偉業を顧みるとともに、伝統ある茶づくりを継承することの意義を広く市民と共有し、その魅力を紹介する記念イベントを実施する。	農業振興課
	文化活動の環境整備	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)	22309	しずおかコンテンツバレー構想(H19新規)	静岡市クリエイター支援センターを拠点としたクリエイターの育成、コンテンツ産業の普及啓発及び振興。 コンテンツバレー推進コンソーシアムの行う、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング、国際協業、情報発信事業に対する	産業政策課

～平成20年度 新規事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	担当課
地域性豊かな市民文化の創造	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)	23207	伝統工芸品首都圏PR事業(地場産業宣伝事業費)	(仮称)静岡市伝統工芸品展示会 ～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催	地域産業課

～平成21年度 新規事業一覧～

該当なし

文化振興ビジョン [第1期実施計画] 進捗状況結果 ～平成18年度 未実施事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	未実施理由	今後の予定	担当課
しずおか史と風土文化につなぐ承継	文化財の保護、活用推進	文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)	11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	基礎データを収集している段階。	基礎データが整い次第実施。	文化財課
		文化財の継承(文化財の保存に努め、後世に残す)	11206	近代化遺産活用事業	「登録文化財の日」に実施される全国一斉公開などの機会を得て文化財の素晴らしさを伝える。	近代化遺産については、まだ指定・登録の実績がない。	指定・登録の実績が発生してからの実施となる。	文化財課
		文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)	11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	各所有者や管理者との連絡調整が未了のため。	調整できた段階で計画したい。	文化財課
	伝統ある文化の伝承の支援	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)	12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	基礎データを収集している段階。	基礎データが整い次第実施。	文化財課
		伝統文化調査事業	12106	伝統文化調査事業	海の民俗誌など地域に残る伝統芸能の広報・普及活動を行い、冊子やホームページ作りを行う。	予算化されなかったため。	平成19年度に実施予定。	文化財課
		伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育てる)	12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化財課
地域性豊かな市民文化の創造	多彩な市民文化活動の支援	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)	21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって創設したい。	今後の体制についての方向をふまへ検討。	文化振興課
		文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	文化事業の立ち上げを簡略化するシステムを作り、文化活動の推進を図るシステムを検討する。	市民ニーズの把握に努めていく必要があるため。	今後の体制についての方向をふまへ検討。	文化振興課
		人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)	21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。	基礎データを収集している段階。	データが整い次第実施予定	文化振興課 生涯学習課 中央公民館
		文化事業企画制作者の育成	21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	事業実施に向けて具体的な検討を行いたい。	文化振興課 静岡科学館
		学芸員実習の受け入れ	21210	学芸員実習の受け入れ	大学等で学芸員資格取得を目指す学生に対し、現場での実習の機会を提供する。	学芸員実習の受け入れ要望が無かったため。	受け入れ指導を継続していく。	静岡科学館
		生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)	21305	教員の在住地域での活動の奨励と推進	教員が在住している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	事業実施に向けて具体的な検討を行いたい。	文化振興課
	文化活動の環境整備	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	今後の体制についての方向をふまへ検討。	文化振興課
		文化基盤整備の検討(文化を意欲したまちづくりを展開する)	22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	他市情報を収集している段階。	今後の体制についての方向をふまへ検討。	文化振興課
		魅力溢れる既存文化施設改修事業	22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設目指した施設整備を行う。	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	二次総(平成22年度～)で実施したい	文化振興課
		文化施設耐震化事業	22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	耐震工事自体が二次総に見送られたため。	二次総(平成22年度～)で実施したい	文化振興課
		市民団体の受け皿づくり	22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	状況整い次第、再検討。	文化振興課
		民間施設との連携	22210	民間施設との連携	民間施設との連携を強化し、共催文化イベント開催を検討する。	現時点では各当該所管文化施設間の連携を図ることに努力しているため、現状では民間施設との連携には至っていない。	継続検討。	文化振興課
文化活動の環境整備	芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)	22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質で長期公演が行える事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図り、市のステータス向上を図る。	ロングラン専用劇場を所有していないこと、ロングラン公演に最も適している静岡市民文化会館は一般利用者が多いため、長期貸し出すことよって一般利用者に弊害がでるため、記念となる事業のみ実施する	平成20年度に実施予定。	文化振興課	
	絵本読み聞かせボランティア養成講座	22406	絵本読み聞かせボランティア養成講座	来・で・こで読み聞かせ活動を行うボランティアを養成する。	平成17年度に養成したボランティアがグループを結成して活動し始めたため、目的を達したとして事業を終了した。なお、現在の人員以上の受け入れが難しいため、今後の開講については、当分の間、実施しない。	左記のとおり。	生涯学習課	
地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)	23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。	音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点からも、実施に至っていない。	継続検討。	文化振興課 中央公民館	
	地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化)	23301	地域産業との連携事業の推進	地域産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	事業実施に向けて具体的な検討を行いたい。	文化振興課	
しずおか史と風土文化の発信	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)	31102	文化活動拠点のネットワーク	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化振興課
		文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)	31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化振興課

文化振興ビジョン【第1期実施計画】進捗状況結果 ～平成19年度 未実施事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	未実施理由	今後の予定	担当課
しずお歴か史と風文土化につ伝承かわれた	文化財の保護、活用推進	文化財に対する意識の高揚(文化財を理解し、保存への意識を高める)	11101	指定文化財データベース作成事業	管理の実態を把握するために、市内の指定文化財をデータベース化する。	基礎データを収集している段階。	基礎データが整い次第実施。	文化財課
		文化財の新たな活用(地域や学校と連携した文化財の活用を図る)	11301	文化財所有者・管理者連絡協議会事業	瀬名郷倉、エンバソン邸などの文化財の保存・管理の関係団体と定期的に連絡協議する。	各所有者や管理者との連絡調整が未了のため。	調整できた段階で計画したい。	文化財課
	伝統ある文化の伝承の支援	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)	12101	指定文化財データベース作成事業	指定民俗文化財について、伝承・保存の実態を把握するためにデータベース化する。	基礎データを収集している段階。	基礎データが整い次第実施。	文化財課
		伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛着を育む)	12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化財課
多彩な市民文化活動の支援	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)		21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創設する。	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって創設したい。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
			21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	文化事業の立ち上げを簡略化するシステムを作り、文化活動の推進を図るシステムを検討する。	市民ニーズの把握に努めていく必要があるため。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
		人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)	21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。	基礎データを収集している段階。(文化振興課)現在保有している人材情報が個人情報保護条例に則った情報収集に基づいたものではないため、そのままではデータの表示が困難なため。(生涯学習課)	データが整い次第実施予定(文化振興課)未定(生涯学習課)	文化振興課 生涯学習課
			21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	事業実施に向けて具体的な検討を行いたい。	文化振興課 静岡科学館
		生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)	21305	教員の在任地域での活動の奨励と推進	教員が在任している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	事業実施に向けて検討を行いたい。	文化振興課
			21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要があるため。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
	文化活動の環境整備	文化基盤整備の検討(文化を意識したまちづくりを展開する)	22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	情報を収集している段階。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
		文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)	22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設目指した施設整備を行う。	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	二次総(平成22年度～)で実施したい。	文化振興課
			22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	耐震工事自体が二次総に見送られたため。	二次総(平成22年度～)で実施したい。	文化振興課
			22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	状況整い次第、再検討。	文化振興課
		芸術文化の鑑賞機会の充実(芸術文化に触れる機会を拡充し、感性豊かな鑑賞者を育成する)	22304	大型文化事業の開催と招致の検討	上質で長期公演が行える事業を誘致し、文化振興と静岡周辺商業の振興と活性化を図り、市のステータス向上を図る。	ロングラン専用劇場を所有していないことと、ロングラン公演に最も適している静岡市民文化会館は一般利用率が多い為、長期間貸し出すことよって一般利用者に弊害がでるため、記念となる事業のみ実施する	平成20年度に実施予定	文化振興課
		地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)	23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。	音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点からも、実施に至っていない。(文化振興課)	
23105	清水港お茶直輸出100周年記念事業			清水港からお茶を直接輸出して、平成18年5月13日で100周年になるため、この機会に先人達の功績を顧みるとともに、本市茶業のさらなる発展をめざし記念イベントを実施する。	当事業は、平成18年5月13日に清水港お茶直輸出100周年を迎える記念事業として実施された。平成18年度の単年度事業であるため、平成19年以降の実施はない。		農業振興課	
地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化)	23301		地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	事業実施に向けての具体的な検討がなされていないため。	事業実施に向けての検討を行いたい。	文化振興課	
しずお歴か史と風文土化につ伝承かわれた	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を発信できる機会を提供する)	31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化振興課
		文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)	31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化振興課

文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕進捗状況結果 ～平成20年度 未実施事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	未実施理由	今後の予定	担当課
歴史・おおかわの文化の伝承	伝統ある文化の伝承の支援	伝統文化に対する意識の向上(地域に根づく文化を理解し、保存・継承の意識を高める)	12104	ふるさと文化再興事業	民族関係の遺産について調査し映像記録を行い、伝承者の育成を援助する。	国庫補助事業・・・申請したが採択されなかった。	—	文化財課
		伝統文化事業の推進(伝統芸能事業や民俗芸能事業の開催を通じて伝統文化への愛情を育てる)	12306	民俗文化学習事業	地域に伝承されてきた民俗芸能や行事についての講座を開催する。	事業予算が予算化されなかった。	平成21年度に「夏休み民俗芸能体験教室」を予定。	文化財課
地域性豊かな市民文化の創造	多彩な市民文化活動の支援	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)	21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加・楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	平成21年度開催の第24回国民文化祭・しずおか2009終了後のメモリアル事業として検討するため。	平成21年度中に国民文化祭・のメモリアル事業として検討予定。	文化振興課
		文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	21202	文化事業の推進・運営を利用者自身で行うシステムの導入	助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内により事業推進を支援する。	各種助成金のお知らせをカウンターに設置するなど、助成金制度活用を促進するほか、後援名義申請のご案内をし、事業推進を支援した。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
		人材・組織の育成(文化活動を担う人材・組織を育成し、活動を支援する)	21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。	基礎データを収集している段階。	データが整い次第実施予定	文化振興課
		文化事業企画制作者の育成	21209	文化事業企画制作者の育成	指導者養成講座を開催し、文化事業を企画する個人、団体、指導者を育成する。	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	事業実施に向けて具体的検討を行いたい。	文化振興課 静岡科学館
		教員の在任地域での活動の奨励と推進	21305	教員の在任地域での活動の奨励と推進	教員が在任している地域の公民館や学校で、子どものための各種講座を教員が公民館と連携してコンソーシアムを形成し、実施する。	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	事業実施に向けて検討を行いたい。	文化振興課
		生涯学習活動への支援(生涯を通じて文化と触れ合える環境をつくる)	21306	市民主体の情報発信、受信のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	事業の条件整備、個人情報の保護等、再検討の必要性があるため。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
	文化活動の環境整備	文化基盤整備の検討(文化を意欲したまちづくりを展開する)	22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	情報を収集している段階。	今後の体制についての方向をふまえて検討。	文化振興課
		魅力溢れる既存文化施設改修事業	22201	魅力溢れる既存文化施設改修事業	高齢者や身障者にやさしい文化施設目指した施設整備を行う。	耐震工事にあわせて、施設のバリアフリー化への改修を実施したいと考えているが、耐震工事自体が二次総に見送られたため。	第二次総合計画での位置付けがなされてから(平成22年度以降)計画に着手する予定。	文化振興課
		文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)	22202	文化施設耐震化事業	静岡市民文化会館等の耐震工事改修計画を立案する。	市民文化会館の耐震工事が二次総に見送られたため。	第二次総合計画での位置付けがなされてから(平成22年度以降)計画に着手する予定。	文化振興課
		市民団体の受け皿づくり	22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	状況整い次第、再検討。	文化振興課
	地域資源を活かした文化事業の充実	地域資源の発掘と再認識(地域資源を把握し、保護する)	23101	地域資源の発掘・把握・保護	人材マップ作成等により、地域資源を把握し、これを保護する。	音楽館、アートギャラリー等の芸術文化関係の情報について、公民館の人材マップと共有化したいが、個人情報保護の観点からも、実施に至っていない。	—	文化振興課
		地域資源の整備と活用(地域の自然・空間・施設・人を活かした文化事業を展開する)	23207	伝統工芸品首都圏PR事業(地場産業宣伝事業費)	(仮称)静岡市伝統工芸品展示会～伝統工芸技術秀士と若手後継者～の開催	平成21年度から実施予定	平成21年度から実施予定(平成21年6月25日～7月7日)	地域産業課
地域資源と文化事業の連携(文化を活用することで地域経済を活性化)		23301	地場産業との連携事業の推進	地場産業の展示会等と連携した文化事業を推進する。	事業実施に向けての具体的検討がなされていないため。	事業実施に向けての検討を行いたい。	文化振興課	
しずおかと文化の発信	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の提供(いつでも、どこでも文化情報を受発信できる機会を提供する)	31102	文化活動拠点のネットワーク化	文化活動拠点を繋ぐ事業を展開する。	条件整備を検討中。	条件が整い次第実施の予定。	文化振興課
		文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)	31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	条件整備を検討中。	条件整備を検討中。	文化振興課
		文化情報・活動の拠点となる施設作り	31208	文化情報・活動の拠点となる施設作り	文化情報の発信基地設置を検討する。	施設の設置には、物的及び人的に多大なコストを要するため、他の手法による同様な機能の実現可能性について検討したい。	検討中。	文化振興課

文化振興ビジョン〔第1期実施計画〕進捗状況結果 ～平成21年度 未実施事業一覧～

目標	方向	方策	事業番号	事業名	事業内容	未実施理由	今後の予定	担当課
民衆文化の振興	伝統ある文化の伝承の支援	伝統文化の継承と支援(伝統文化継承者や団体の育成と活動への支援を図る)	12201	文化財保護審議会事業(再掲)	民俗・伝統文化継承者にかかる指定候補物件の調査を行う。	21年度では民俗・伝統文化継承者に該当する指定候補がなかった。	継続して調査を行う。	文化財課
			21110	市民文化の日創設事業	(仮)市民文化の日を創設し、市内文化事業を集中開催し、これに参加し楽しみ・学び・夢を描く場を意図的に作り、静岡の文化を市民が考え受け止める場を創る。	文化振興ビジョンで謳っている「主体別の役割と協働」の達成をもって、創設したいと考えている。	継続して検討を行う。	文化振興課
地域性豊かな市民文化の創造	多様な市民文化活動の支援	文化活動への助成(団体・個人の活動を支援し、活性化を図る)	21112	国・県の文化補助事業の活用推進	国・県・他団体による文化事業補助事業の活用と利用を呼びかけるため、情報コーナーを設ける等周知する制度を推進する。	平成18年度より、政令指定都市移行に伴う新規事業として、文化庁への「新進芸術家海外留学制度」の候補者推薦を実施。平成21年度は申込者なし。	継続して実施する。	文化振興課
			21118	市民活動協働市場事業	市民活動団体と市の双方が相互に提案を行う「協働市場」を通じて協働事業を創出する。	募集は行ってはいたが、応募がなかったため未実施。	継続して実施する。	市民生活課
			21204	人材・団体のデータベース化	市内の文化人や団体の紹介を記したデータベースを作成する。(生涯学習施設利用団体のサークルリストの作成、窓口での紹介。)	・基礎データを収集している段階(文化振興課) ・各生涯学習施設で活動している、文化団体のリストを作成し、窓口にて紹介する。	データが整い次第実施予定。	文化振興課
			21306	市民主体の情報発信、受領のシステムづくり	文化団体間や文化団体と個人の情報交換のシステムを創出する。	事業の条件整備、個人情報保護等、検討の必要性があるため。	継続して検討を行う。	文化振興課
			22102	行政における文化的視点の導入促進	庁内組織に文化的視点を盛り込んだまちづくりが図れる体制を設ける検討を行う。	情報を収集している段階	今後の体制についての方向性をふまえて検討。	文化振興課
文化活動の環境整備	文化活動の環境整備	文化活動拠点の整備(施設の充実・連携を通じて、文化活動を行う環境を整える)	22205	市民団体の受け皿づくり	市内の文化活動を続けている団体等と連携し、市民中心となる活動の場を整備していく。	活動時間帯、音響問題等、近隣住民との諸条件の問題により、実現が難しいため。	状況が整い次第再検討。	文化振興課
			31105	ようこそ静岡推進事業	・携帯電話をツールとしたコミュニケーションシステムの構築、運用を行う ・携帯メールを活用した情報提供およびアンケートによる観光客のニーズ把握 ・登録者とのコミュニケーションによるリピーターの獲得	平成17年度より事業を開始したが、平成20年度末の登録者数が4,267人、内市外、県外登録者が約4割と登録者数が伸び悩み、費用対効果が低いと判断し、H21年7月事業廃止手続きを行った。今後、新たな情報発信の手法を検討する。	事務事業の見直しにより、H21年度廃止。	文化振興課
しずおか文化の発信	全国へ、世界へ地域文化を発信する機会の整備	文化情報の発信拠点整備とネットワークの構築(文化情報の発信力を強化し、全国へ「しずおか文化」を発信する)	31206	文化情報の配信方法の検討	市内文化情報の一元化方法を検討し、文化情報発信の強化を図る。	条件整備を検討中	条件整備を検討中。	文化振興課
			31213	しずおか文化発信事業	ロシアでの芹沢作品展を開催する等、市の地域資源を紹介し、情報を発信する事業を開催し、静岡の名を周知させる。	対象事業無し	対象事業がある場合は積極的にを行う。	文化振興課

## 静岡市文化振興ビジョン評価懇話会委員名簿

- 会 長           上 利 博 規   （静岡大学人文学部教授）
- 副 会 長       川 口 宗 敏   （静岡文化芸術大学大学院教授）
- 委 員           黒 田 麻紀子   （市民公募委員）
- 委 員           高 岡     基   （市民公募委員）
- 委 員           林   の ぶ   （静岡県女流美術協会代表）

## 静岡市文化振興ビジョン評価懇話会設置要綱

(設置)

第1条 静岡市は、静岡市文化振興ビジョン（平成18年3月策定。以下「ビジョン」という。）の計画期間の中間年次における各施策の進捗状況、市民の活動状況等に対する評価（以下「中間評価」という。）を実施するため、静岡市文化振興ビジョン評価懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇話会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 中間評価に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、中間評価に関し、市長が必要があると認める事項

(組織)

第3条 懇話会は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験がある者
- (2) 市民

3 市長は、前項第2号に掲げる者を委員に選任するに当たっては、公募の方法によるよう努めるものとする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成23年3月31日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 懇話会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、懇話会の会務を総理し、懇話会を代表する。
- 4 会長は、懇話会の会議の議長となる。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇話会の会議は、会長が招集する。

2 懇話会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、生活文化局文化スポーツ部文化振興課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が懇話会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成22年12月13日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、懇話会が中間評価を終了した時にその効力を失う。



発行：平成 23 年 3 月

発行者：静岡市

編集：静岡市生活文化局文化スポーツ部文化振興課

〒420-8602

静岡市葵区追手町 5 番 1 号

TEL : 054-221-1040 FAX : 054-221-1407

E-mail : [bunka@ci ty. shi zuoka. lg. jp](mailto:bunka@ci ty. shi zuoka. lg. jp)

ホームページ : <http://www.ci ty. shi zuoka. jp/>